

令和元年度

事業報告書  
決算報告書

公益財団法人 広島市みどり生きもの協会

# 目 次

## 第1 事業報告書

1 設立目的及び概況	1
2 役員等の状況	2
3 理事会等の開催	4
4 定款の変更	4
5 職員の状況	5
6 事業の実施状況	6
7 事業報告の附属明細書	6 2

## 第2 決算報告書

1 貸借対照表	6 3
2 貸借対照表内訳表	6 5
3 正味財産増減計算書	6 6
4 正味財産増減計算書内訳表	7 0
5 財務諸表に対する注記	7 4
6 附属明細書	7 6
7 財産目録	7 7

# 事 業 報 告 書

# 第1 事業報告書

## 令和元年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会事業報告書 (平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

### 1 設立目的及び概況

#### (1) 設立目的

緑のまちづくりの事業及び公園に関する事業を通して、ゆとりとやすらぎのある緑豊かな都市環境の形成及び市民の心身の健全な発達を図るとともに、生物多様性の保全に貢献し、もって公共の福祉の増進に寄与することを目的とする。

#### (2) 概況

##### ア 設立年月日

昭和51年10月1日 財団法人広島市公園協会として設立

平成11年 4月1日 財団法人広島市動物園協会と統合

平成24年 4月1日 公益財団法人へ移行し、公益財団法人広島市みどり生きもの協会に名称変更

##### イ 基本財産

設立当初、基本財産は1,000万円（全額広島市出資）であったが、平成11年4月1日財団法人広島市動物園協会との統合に伴い、同財団から1,200万円を寄附受領し、また、広島市から9,000万円の追加出資があったことにより、現在の基本財産は、1億1,200万円（うち広島市出資1億円）である。

##### ウ 実施事業

- (ア) 緑化思想の普及啓発、民有地の緑化等緑のまちづくりの推進
- (イ) 広島市が設置する公園及び公園施設の管理運営及び利用の促進
- (ウ) 広島市が設置する動物公園、植物公園及び昆虫館の管理運営及び利用の促進
- (エ) 生きものに関する調査研究、教育及び普及啓発
- (オ) 前各号に関する附帯事業の運営
- (カ) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

## 2 役員等の状況

### (1) 役員等の人数

理 事 長	1 人
専務理事	1 人
常務理事	2 人
理 事	1 1 人
監 事	2 人
評 議 員	1 2 人

### (2) 理事・監事

ア 事業年度中の理事・監事の異動は、次のとおりである。

異動年月日	役職	氏名	異動内容
令和元年 6月12日	専務理事	佐名田 敬 荘	重 任
	常務理事	栄 谷 洋	重 任
	理 事	石 田 源次郎	重 任
	理 事	上向井 利 之	重 任
	理 事	金 子 和 泰	重 任
	理 事	児 玉 吾 郎	重 任
	理 事	竹 下 俊 治	就 任
	理 事	中 越 信 和	重 任
	理 事	中 原 裕 子	重 任
	理 事	榎 井 秀 雄	退 任
	理 事	益 渕 正 典	退 任
	理 事	松 本 幸 雄	重 任
	理 事	宮 崎 智 三	重 任
	理 事	山 口 富 美 夫	就 任
	理 事	渡 邊 一 雄	重 任
令和2年 3月31日	監 事	神 田 敏 治	重 任
	理 事 長	岡 村 清 治	辞 任
	専務理事	佐名田 敬 荘	辞 任

イ 令和2年3月31日現在の理事・監事は、次のとおりである。

役 職	氏 名	就 任 年 月 日
理事長	岡 村 清 治	平成29年 4月 1日
専務理事	佐名田 敬 荘	平成27年 4月 1日
常務理事	栄 谷 洋	平成28年 4月 1日
常務理事	南 心 司	平成27年 4月 1日
理 事	石 田 源次郎	平成24年 4月 1日
理 事	上向井 利 之	平成29年 6月 14日
理 事	金 子 和 泰	平成31年 3月 28日
理 事	児 玉 吾 郎	平成27年 3月 27日
理 事	竹 下 俊 治	令和元年 6月 12日
理 事	中 越 信 和	平成17年 7月 1日
理 事	中 原 裕 子	平成27年 6月 10日
理 事	松 本 幸 雄	平成21年 7月 1日
理 事	宮 崎 智 三	平成29年 3月 28日
理 事	山 口 富美夫	令和元年 6月 12日
理 事	渡 邊 一 雄	平成17年 7月 1日
監 事	神 田 敏 治	平成19年 7月 1日
監 事	久 光 章	平成30年 4月 1日

### (3) 評議員

ア 事業年度中の評議員の異動はなし。

イ 令和2年3月31日現在の評議員は、次のとおりである。

役 職	氏 名	就 任 年 月 日
評議員	大 橋 啓 一	平成28年 6月 9日
評議員	尾 楠 美代子	平成26年 3月 27日
評議員	真 宅 成 光	平成24年 4月 1日
評議員	竹 澤 寿 幸	平成25年 8月 1日
評議員	田 邊 朋 子	平成29年 6月 14日
評議員	富 川 久美子	平成28年 6月 9日
評議員	中 島 昌 子	平成24年 4月 1日
評議員	中 坪 孝 之	平成24年 4月 1日
評議員	福 田 博	平成30年 6月 14日
評議員	藤 井 敏 男	平成24年 4月 1日
評議員	山 岡 裕 幸	平成29年 6月 14日
評議員	吉 田 幸	平成30年 6月 14日

### 3 理事会等の開催

#### (1) 理事会

開催年月日	開催回数	付 議 事 項	審議結果
令和元年5月28日	令和元年度 第 1 回	1 平成30年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会事業報告及び決算報告について 2 理事長、専務理事及び常務理事の自己の職務の執行状況の報告について 3 平成30年度における職員の職務に係る倫理の保持に関する状況及び職員の職務に係る倫理の保持に関して講じた施策に関する報告について	承認 終了 終了
令和元年6月12日 (決議の省略)	令和元年度 第 2 回	1 専務理事の選定の決議について 2 常務理事の選定の決議について	選定 選定
令和2年3月10日 (決議の省略)	令和元年度 第 3 回	1 令和元年度第2回評議員会の招集について	原案可決
令和2年3月24日 (決議の省略)	令和元年度 第 4 回	1 令和元年度第2回評議員会の招集の取りやめについて	原案可決
令和2年3月26日 (決議の省略)	令和元年度 第 5 回	1 令和2年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会事業計画及び収支予算について 2 令和2年度第1回評議員会の招集について	承認 原案可決

#### (2) 評議員会

開催年月日	開催回数	付 議 事 項	審議結果
令和元年6月12日	令和元年度 第 1 回	1 平成30年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会決算報告について 2 理事の選任の決議について 3 監事の選任の決議について 4 平成30年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会事業報告について	承認 選任 選任 終了
令和2年3月30日 (決議の省略)	令和元年度 第 2 回	1 公益財団法人広島市みどり生きもの協会定款第28条第1項に定める役員の選任の決議について	選任

### 4 定款の変更

事業年度中の定款の変更はなし。

## 5 職員の状況

令和2年3月31日現在の職員の状況は、次のとおりである。

(単位：人)

区分		事務職員						技術職員						技能業務職員	非常勤職員	合計	
		部長級	課長級	課長補佐級	係長級	主事	小計	部長級	課長級	課長補佐級	係長級	技師	小計				
緑化管理部	経営企画課		2	1	3	3	9						3	3	1	4	17
	昆虫館				1		1		1		3	3	7		1	9	
動物公園	管理課		1	1	3	3	8				1	3	4	3	17	32	
	飼育・展示課								2	3	6	18	29		2	31	
植物公園	管理課		1	1	2	2	6	1		1	1	2	5	1	1	13	
	栽培・展示課								1	1	3	6	11		6	17	
合計			4	3	9	8	24	1	4	5	14	35	59	5	31	119	

## 6 事業の実施状況

次の事業を実施した。

### (1) 公益目的事業

#### ① 緑のまちづくり [公1事業]

緑化思想の普及、啓発を図るとともに、市民の自主的な緑化活動を促進し、市民の生活にゆとりと安らぎを与え、健やかで潤いのある緑豊かな住みよいまちづくりを進めるため、次のとおり事業を実施した。

##### ア 緑化思想の普及啓発

###### (ア) グリーンフェア

名 称	時 期	場 所	内 容	入場者数
春のグリーンフェア	4月5日 ～4月14日	中央公園 自由広場	広島市等と実行委員会を組織し、ハンギングバスケット作品展、モデル庭園などの展示及び花市・植木市などを行った。	約51,000人
秋のグリーンフェア	10月19日 ～10月27日	植物公園	広島市等と実行委員会を組織し、見どころめぐりスタンプラリーや花と緑の講習会などを行った。	9,656人

###### (イ) 広報普及

名 称	時 期	内 容	件 数
ホームページによる広報	通 年	ホームページにより、事業の紹介や催し物などの情報を提供した。	アクセス件数 160,858 件
マスコミによる広報	通 年	新聞社を通じて、催し物などの情報を提供した。	9 件

イ 民有地緑化の推進

(ア) 緑化講習会の開催

名 称	時 期	場 所	内 容	参加者数
初夏のハンギング バスケットづくり	6月6日	中央公園 ファミリープール	インパチェンス、コリウスなどを使用した初夏らしいハンギングバスケット作りを実演指導した。	25人
クリスマスに ぴったりな寄せ植え	11月15日	中央公園 ファミリープール	ガーデンシクラメン、ポインセチア、ベゴニアなどを使用したクリスマスにぴったりな寄せ植え作りを実演指導した。	30人
新春を迎える寄せ植え	12月6日	中央公園 ファミリープール	松、葉牡丹、シクラメン、福寿草のほか、石材、コケなどを使用した新春らしい寄せ植え作りを実演指導した。	30人
春の息吹を感じる寄せ植え	2月28日	中央公園 ファミリープール	イロモミジ、ガーベラ、アリッサムなどを使用した寄せ植え作りを実演指導した。	26人

(イ) 緑のカーテン設置補助金などの交付 [緑化基金事業]

名 称	時 期	内 容	交付件数等	
			件数	金 額
緑のカーテン設置 補 助 金 の 交 付	4月3日 ~5月10日	緑のカーテンの設置に要した費用の一部を補助金として交付した。	41 件	221,300 円
魅せる花づくり 補 助 金 の 交 付	5月2日 ~6月7日 9月2日 ~10月7日	民有地内で多くの人の目に触れる場所（道路に面した場所）において花づくりを行った費用の一部を補助金として交付した。	57 件	408,400 円
記念樹の贈呈	7月15日 ~8月31日	誕生、入学・卒業、成人、結婚など人生の記念の節目を迎えた者に記念樹（苗木）を贈呈した。	124 件	262,460 円

(ウ) 緑化指導者の派遣 [緑化基金事業]

名 称	時 期	内 容	参加者数等
緑化指導者の派遣	通 年	緑化に精通した専門の指導者を講習会に派遣し、草花の寄せ植え、育て方などを指導した。	開催回数 35回 参加者数 659人

(エ) 出版物の発行〔緑化基金事業〕

名 称	時 期	内 容	発行部数
ハンドブック 「魅せる花、緑のカーテン つくりかたBOOK」	通 年	「緑のカーテン設置補助金」や「魅せる花づくり補助金」の利用促進を図り、広島市の推進する「花と緑の広島づくり」に協力するため、緑のカーテン、花壇等の作り方・楽しみ方をまとめたハンドブックを発行・配布した。	2,500 部

ウ 貢献者の表彰〔みどり生きもの協会賞基金事業〕

広島市みどり生きもの協会賞基金の運用益等をもって、次のとおり広島市みどり生きもの協会賞を贈呈した。

＜広島市みどり生きもの協会賞＞

受 賞 者	対象区分	功 績 概 要
堀 口 力	実 務	樹木の専門家としてその知識と技術を活かし、永年にわたり被爆樹木の保存や継承活動を行い、被爆樹木の大切さや緑の重要性を伝えるとともに 公園緑地事業への協力・助言など、緑地の保全に精力的に取り組み、広島市の緑化推進事業の発展振興に多大な貢献をした。

## ② 動物公園の管理運営 [公2事業]

広島市から指定（期間：平成30年4月1日～令和4年3月31日）を受けた広島市安佐動物公園における動物の飼育・展示、収集及び飼育管理、入園料の収受、施設の維持管理などを行い、入園者が施設を安全かつ快適に利用できるよう努めた。

また、他団体との連携や調査・研究の成果を生かして、生息域内保全と生息域外保全の両面から生物多様性の保全に貢献するとともに、社会教育への協力、学校教育活動の受入れやコンクールその他催し物の開催など各種事業を実施し、動物に関する知識及び動物愛護思想の普及、かん養並びに動物愛好者の育成を図った。

### ア 動物の飼育・展示など

#### (ア) 動物の飼育・展示

[展示場所等] 主な展示動物	内 容
[エントランスゾーン] アヌビスヒヒ、 フラミンゴなど	サバンナのコピエをイメージしたヒヒ山では、身体能力の高いアヌビスヒヒを群れで展示し、開園時間に給餌を実施するなど社会性が観察できる展示を行った。また、色鮮やかなフラミンゴ4種を群れで混合展示するなど、展示場内で繁殖行動を観察できる展示を行った結果、1羽の繁殖に成功した。
[アフリカゾーンⅠ] サバンナゾウ、 マルミミゾウ、 アミメキリン、 グラントシマウマなど	アフリカの雰囲気を醸し出すため、サバンナゾウ、マルミミゾウ、アミメキリン、グラントシマウマなどを広い放飼場一帯に展示した。マルミミゾウは、引き続き日・祝日に公開調教を行い、ゾウの能力や飼育手法を解説し、野生動物の魅力が分かる展示を行った。アミメキリンは、4頭の群れ展示を継続し、「動物観察えさやり体験デー」でキリンの生態等を解説した。グラントシマウマは、令和元年9月から12月に繁殖した3頭の子どもが順調に成育し17頭となり、国内最大級の群れ展示を継続した。
[アフリカゾーンⅡ] チーター、クロサイ、 ミーアキャットなど	アフリカに生息するチーター、クロサイ、ミーアキャット、アフリカスイギュウなどを展示した。チーターは、雄1頭を新たに導入し、展示を充実させるとともに繁殖への取り組みを再開した。クロサイは、間近まで寄ってくる迫力ある展示を行うとともに、動物解説を行った。ミーアキャットは、穴掘りの様子や日光を浴びて立つ姿を間近で観察できる群れ展示を行った。
[サルのなかま] チンパンジー、 マンドリルなど	チンパンジー、マンドリル、ブラッザグエノンなど多様なサル類を展示した。ブラッザグエノンは、平成28年に導入した雌が令和元年8月に出産し、本園では15年ぶりの子どもの展示を行った。マンドリルは、群れ展示を継続し、その能力、形態、行動についてヒトとの違いを学べるよう、「飼育係が動物解説」を行った。チンパンジーは、これまで分けて飼育展示をしていた大人の雄と、雌や若い雄との同居の試みを行い、将来の群れ展示への取り組みを開始した。また、ガラス越しに間近で観察ができる放飼場では、高所を自由に素早く移動する姿や、ステンレスの板を鏡として利用する姿など、本種の身体能力や知能の高さが学べる展示を引き続き行った。

[展示場所等] 主な展示動物	内 容
[ぴーちくパーク] ポニー、テンジクネズミ、 ヤギ、ブタ、ペンギン、 大型インコ類など	ヤギ、ヒツジ、ミニブタなどと自由に触れ合える広場を提供するとともに、ポニーの乗馬体験や、テンジクネズミとのふれあい体験を通して動物の温もりを伝え、動物を愛護する情操のかん養を図った。また、色鮮やかな大型インコ類を展示した。ことりの家では、キンカチョウ、ジュウシマツ、ウズラ、ヒメウズラ、クジャクバト等が繁殖し多種の鳥類によるにぎやかな展示を行った。子育ての家では、オオサンショウウオの幼体・成体を展示した。フンボルトペンギンは、定期的に産卵・抱卵を行ったが、孵化までには至らなかった。
(はちゅう類館) リクガメ広場 コウモリ、ワニ、ヘビ、 オオサンショウウオ、 リクガメ、ゾウガメなど	活発に動き回る夜行性動物の姿を観察できるよう、照明を暗くした1階には、ムササビなどを展示するとともに、オヒキコウモリの展示を行った。バックヤードガイドでは、夜行性動物の生態や特長、飼育の現場について解説した。2階には、ワニやヘビなどの爬虫類のほか、特別天然記念物オオサンショウウオを展示した。リクガメ広場に展示しているリクガメ類のうち、令和元年にワシントン条約付属書Ⅰに格上げとなった絶滅危惧種であるインドホシガメは、6頭が孵化し成育した。
[アジアの草食動物] マーレーバク、 ブラックバックなど	マーレーバク、ブラックバック、フタコブラクダ、キョンなどアジアの様々な環境に生息する草食獣を展示した。ブラックバックは、順調に繁殖しており、群れ展示を継続した。フタコブラクダは、バックヤードガイドにおいて、砂漠に適応したラクダの特長やその飼育について解説した。
[日本の動物] ツキノワグマ、 キツネ、タヌキなど	自然と人間との関わりを考えるために、ツキノワグマ、キツネ、タヌキ、アナグマ、イノシシなど国内に生息する身近な動物を展示了。キツネは4月に3頭が誕生し、展示を充実させた。
[大鳥舎] オシドリ、バンなど	オシドリの生息地である森林の河川やマガモ、シジュウカラガンなどの生息地である開けた湿地・湖沼に似せた環境で、水鳥を展示了。ツクシガモは、繁殖した2羽が成育した。サカツラガンは、雄の導入先を引き続き調査した。
[西園] レッサーパンダ、 ユーラシアカワウソなど	ユーラシアカワウソは、国内に6頭しかいない中国系亜種の繁殖に取り組んだ。レッサーパンダは、ブリーディングローンで導入した個体のペアにより繁殖した2頭の子どもが成育し、種保存事業に貢献するとともに展示を充実させた。ニホンカモシカは、7年ぶりに繁殖し希少な四国産の種の保存に貢献し、展示を充実させた。コウノトリは、有精卵をコウノトリの里公園に譲渡し、孵化したヒナが放鳥され、コウノトリの自然復帰事業への貢献につながった。
[肉食動物ゾーン] ライオン、トラ、 ヒョウなど	ライオンは、平成30年に生まれた子どもと母親、父親の群れを形成し展示を充実させた。3頭のこどもは順次他園に移動した。日曜日にはガラス展示スペース「レオガラス」での「レオガラスお食事タイム」による迫力のある給餌と解説を行った。アムールトラ、アムールヒョウは、ともに強化ガラス（パンセラビュー）により、迫力や威圧感が伝わる展示を行った。

## 【動物の飼育展示数】

(令和2年3月31日現在)

区分	種類	点数
哺乳類	56種	714点
鳥類	46種	671点
爬虫類	34種	249点
両生類	4種	317点
魚類	10種	—
合計	150種	1,951点

## (イ) 動物の収集及び飼育管理

名称	内容																																		
展示動物の維持及び種の保存	血統や余剰動物の管理を適切に行い、計画的な繁殖、ブリーディングローンなどにより、展示動物を適正に維持するとともに、保護が必要な動物を飼育し、種の保存を図った。																																		
飼育下繁殖	ブラッザグエノン、レッサーパンダ、ニホンカモシカ、オオフラミンゴ、インドホシガメ、ナゴヤダルマガエルなど、絶滅危惧種や希少種とされている野生動物の繁殖に成功した。																																		
ブリーディングローン	所有権を移転することなく、他園と動物の貸出しや借入れを行うことで、効率的かつ効果的に繁殖を行った。  (単位:頭)  <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th><th>哺乳類</th><th>鳥類</th><th>爬虫類</th><th>合計</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <th>元年度</th><th>借入</th><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr> <th>新規</th><th>貸出</th><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr> <th>全体</th><th>借入</th><td>22</td><td>4</td><td>1</td><td>27</td></tr> <tr> <th></th><th>貸出</th><td>38</td><td>25</td><td>0</td><td>63</td></tr> </tbody> </table> 元年度借入:チーター(公益財団法人横浜市緑の協会) 元年度貸出:ユーラシアカワウソ(公益財団法人横浜市緑の協会)							哺乳類	鳥類	爬虫類	合計	元年度	借入	1	0	0	1	新規	貸出	1	0	0	1	全体	借入	22	4	1	27		貸出	38	25	0	63
		哺乳類	鳥類	爬虫類	合計																														
元年度	借入	1	0	0	1																														
新規	貸出	1	0	0	1																														
全体	借入	22	4	1	27																														
	貸出	38	25	0	63																														
動物交換	余剰動物を他園と交換して、必要な動物入手し、新しい血統の確保を図った。 導入:インドクジャク 放出:ヤギ、テンジクネズミ、ルリコンゴウインコ																																		
血統登録・血統管理	(公社)日本動物園水族館協会が行う血統登録に参画し、希少種の血統管理の会議に出席するなど国内の希少種保全に協力した。チーターを導入し、ユーラシアカワウソを貸し出すなど他園館と協力して希少種の血統管理を行い、血縁の偏りを防いだ。																																		

名 称	内 容
動物の飼育管理及び展示環境の改善	園内で飼育・展示する動物が健康で長生きできるよう飼育管理を行った。また、動物が本来持つ自然で多様な行動を引き出し、日々生き生きと暮らせるよう、展示環境の改善を行った。
飼 育 管 理	健康状態を良好に保つため、衛生的かつ栄養学的に適切な飼料の配合や給餌、必要に応じた診察や治療、飼育舎の衛生管理を行った。高病原性鳥インフルエンザ対策のため、一部の鳥類を隔離した。また、ネコ科の動物に感染する可能性のある重症熱性血小板減少症候群(SFTS)対策として、マダニ駆除のための薬剤散布や草刈を行った。
展示環境の改善 (環境エンリッチメントの強化)	生息地の自然環境を考慮し、野生動物が本来持つ行動を引き出すため、展示環境の改善を行った。チンパンジー舎では、消火ホースを使った遊具を設置し、アフリカスイギュウ舎では、背搔き棒を設置した。また、サル舎等への渡り木の設置、アカゲザル舎等では餌を探させることを目的とした運動場への落ち葉の敷き詰めや遊び道具の設置など、様々な工夫を施した。

(ウ) 入園料の收受（利用料金制）

【入園状況】

区 分				入園者数	使 用 料		
有料入園者	個 人	大人	18歳以上 65歳未満	510 円	153,933 人		
			65歳以上	170 円	10,092 人		
		小人	18歳未満(小・中学生を除く)	170 円	3,433 人		
	年間パスポート	大人	18歳以上 65歳未満	1,540 円 1,560 円	3,947 人 3,113 人		
			65歳以上	510 円	586 人		
		小人	18歳未満(小・中学生を除く)	510 円	10 人		
		大人	18歳以上 65歳未満	—	24,779 人		
	提示	大人	65歳以上	—	2,462 人		
			18歳未満(小・中学生を除く)	—	15 人		
		小人	18歳以上 65歳未満	430 円	11,155 人		
	団 体	大人	65歳以上	130 円	508 人		
			18歳未満(小・中学生を除く)	130 円	2,515 人		
		大人	18歳以上 65歳未満	430 円	1,007 人		
	優待割引	大人	65歳以上	130 円	47 人		
			18歳未満(小・中学生を除く)	130 円	1 人		
小 計				217,603 人	97,672,590 円		
減免等入園者（小・中学生、社会福祉施設、その他）				235,803 人	0 円		
合 計				453,406 人	97,672,590 円		

(イ) 利用促進

名 称	時 期	内 容	枚 数 等
「ポニ一体験乗馬」 ポイントカードの発行	通 年	毎週土・日曜日、祝日に行うポニーの体験乗馬参加者にポイントカードを発行し、利用回数に応じた特典を設け、リピーターの確保を図った。	ポイントカード配付枚数 4,826 枚 特典供与人數 延べ 361 人
年間パスポートの販売 (動物公園・植物公園・昆虫館共同事業)	通 年	より多くの方に動物公園の魅力に触れる機会を提供するため、植物公園・昆虫館と共に利用できる年間パスポートを販売し、利用者に対するサービスの向上及びリピーターの確保を図った。	販売枚数 7,656 枚
優待利用券の販売	通 年	企業や団体の福利厚生や景品などへの利用を目的に優待利用券(入園券引換券+飲み物引換券)を販売し、新たな入園者の獲得に努めた。	販売冊数 大人(65歳未満) 9 冊
広島市交通科学館との相互利用促進 (公財)広島市文化財団共同事業	通 年	近隣施設の広島市交通科学館と協力して、相手施設の使用済の観覧券又は入園券提示者に団体割引料金を適用し、更なる利用者獲得を図った。	1,015 人
公共交通機関利用者への特典付与	通 年	駐車場不足による渋滞対策として、路線バスやアストラムラインを利用して来園した者に対し、売店、食堂等の商品割引サービスを行い、公共交通機関利用による来園を促進した。	2,324 人
旅行代理店と連携した 観光客の誘致	通 年	旅行代理店に入園者の誘致のための広報宣伝を委託するとともに、旅行代理店が発行したクーポン券利用の入園者に売店、食堂等の商品の割引サービスを実施することにより、観光客の増加を図った。	16 件
アニマルカードの進呈	通 年	天候不順日の来園者に、動物公園オリジナルアニマルカードを進呈し、更なる顧客の獲得に努めた。	4,935 枚
電動カートの運行	通 年	土・日・祝日に、勾配の急な西園等への移動手段として、電動カートを運行し、入園者サービスの向上を図った。	8,212 人
広島駅南口地下広場 柱巻案内看板の設置	通 年	JR広島駅南口広場にある柱に、安佐動物公園行きバス乗り場までを案内する写真看板を設置し、広島駅からバスを利用する来園者の利便性の向上を図った。	柱 5 か所 写真 延べ 20 枚
外国人観光客誘致の促進	通 年	英語や中国語のリーフレットを観光案内所を通じて配布することにより外国人観光客の増加を図った。	平和記念公園レスト ハウス観光案内所 JR 広島駅南口観光案内所 広島バスセンターなど

名 称	時 期	内 容	入園者数等
休園日の開園	4月4日 5月2日 10月3日 10月10日 10月17日 10月24日 10月31日 1月1日 1月2日 3月26日	春休み、ゴールデンウィーク期間中、秋の行楽シーズンにおける休園日及び元日を開園し、利用者に対するサービスの向上及び入園者の増加を図った。	1,708人 7,169人 760人 1,876人 1,561人 168人 335人 1,355人 2,088人 804人 計17,824人
がんばれカープ！カープミニ新幹線に乗ろう	5月6日	展望広場で <del>株</del> 広島東洋カープから広島市に寄贈されたカープミニ新幹線を走らせ、ファミリー層の利用促進を図った。	200人
宮島水族館との連携	7月13日 ~3月31日	宮島水族館と連携し、合同PRイベントとスタンプラリーを実施し、観光客等の増加を図った。	《スタンプラリー参加館》 安佐動物公園 1,163人 宮島水族館 1,159人
夜間開園 (ナイト・サファリ)	8月10日 8月11日 8月17日 8月18日 8月24日 8月25日 8月31日 9月1日	幻想的な雰囲気を醸し出すとともに、昼間とは異なる動物たちの生態を観察できるよう、園内のライトアップや夕暮れコンサートなどを行い、動物公園の魅力を向上させ入園者の増加を図った。	夜間入園者数 (16時以降の入園者数) 3,014人 4,916人 5,955人 3,200人 3,615人 3,189人 6,354人 1,440人 計31,683人
イルミネーション点灯式	8月10日 8月11日 8月17日 8月18日 8月24日 8月25日 8月31日 9月1日	夜間開園日に、様々なイルミネーションが点灯する点灯式を開催し、夜の動物園の魅力向上を図った。	約1,500人
安佐動物公園 ウォーキング大会 (安佐北区役所共同事業)	10月19日	シニア層を対象に、動物や植物など園内の自然に親しみながら歩く、ウォーキング大会を開催した。	145人
お客様感謝デーの実施	1月13日 2月11日	日頃の利用に感謝して、閑散期である冬期の祝日2日を入園料無料の日とし、入園者サービスの向上並びに入園者及び収入(駐車料等)の増加を図った。	4,404人 5,017人 計9,421人

(オ) 施設の維持管理・園内サービス

名 称	時 期	内 容
施設の維持管理	通 年	入園者に安全・快適な観察環境を提供するため、園内の清掃・警備を行った。動物の排泄物については、園内で堆肥化した上で、農家に提供した。また、動物舎などの建物や機械・電気などの設備を良好な状態で利用できるよう維持管理や小規模修繕を行った。
利 用 案 内	通 年	入園者が快適に観察できるよう、標識、リーフレット（外国人向けのものを含む）や園内放送などにより利用案内を行った。
緊急時などの対応	通 年	傷病者の救護、迷子の搜索・保護、拾得物・遺失物の管理などを行った。
園 内 情 報 の 提 供	通 年	園内の各所に工夫を凝らした展示解説板やクイズボード等を設置し、動物に関する知識の普及を図った。また、「きょうの見どころ・イベント」の掲示板により当日の情報を提供した。
スマートフォン等用園内ガイドアプリを活用したサービスの提供	通 年	スマートフォンやタブレットを活用した入園者の利便性の向上や動物に関する知識の普及を図るため、スマートフォン等用の園内ガイドアプリを運用した。（ダウンロード件数 2,877件）

イ 生物多様性の保全

(ア) 他団体との連携

名 称	時 期	内 容	回 数 等
日動水の種保存に関する会議への参加	通 年	(公社) 日本動物園水族館協会の種保存に関連した会議に参加し、種保存（繁殖）計画の検討及び調整を行った。	11回
希少動物の保護	通 年	(公社) 日本動物園水族館協会からの受入れ要請に基づき、ワシントン条約違反の任意放棄動物を保護した。	24点
姉妹動物園との交流	通 年	ホノルル動物園のオオサンショウウオ飼育担当者と電子メール等による飼育技術交流を行った。	1件
日本オオサンショウウオの会の活動	10月5日 ~10月6日	岡山県真庭市で開催された総会に参加し、保護活動に必要な情報交換を行った。	1回

(イ) 生息域内保全

名 称	時 期	内 容	回 数
生息地における絶滅危惧動物の保全	通 年	北広島町志路原地区や世羅町小谷の保全団体などとの協働により、オオサンショウウオやナゴヤダルマガエルなど、絶滅に瀕した野生動物の保全活動を行った。また、オヒキコウモリについては、安佐北高等学校の校舎や広島大学歯学部校舎に生息する個体群の調査を行った。	オオサンショウウオの飼育調査 8回 ナゴヤダルマガエルの飼育調査 5回

(ウ) 生息域外保全

名 称	時 期	内 容	件 数
生息地以外における絶滅危惧動物の保全	通 年	国の特別天然記念物であるオオサンショウウオと、希少種であるオヒキコウモリ、キクガシラコウモリやヤマコウモリの飼育、ハヤブサの飼育下繁殖、繁殖行動の調査などに取り組んだ。また、広島県の絶滅危惧種であるナゴヤダルマガエルは、広島県からの受託業務により保全活動に取り組んだ。	6 件

(エ) 動物に関する調査・研究等

名 称	時 期	内 容
動物に関する調査・研究	通 年	園内の動物や県内の野生動物の生態などについて調査・研究を行い、飼育技術の確立や生息域内・域外保全の推進に努めた。 1 再整備に向けた調査・研究 〔短期的取り組み〕 ・マルミミゾウ舎の建設において、動物の生態・行動、飼育方法や、構造に関する専門的な情報を提供するなど広島市に協力した。 〔中・長期的取り組み〕 ・キクガシラコウモリ等の小型哺乳類の飼育技術の確立のための飼育施設環境整備を行った。 ・園内に生息しているホンドギツネやムササビの行動について随時調査するとともに、入園者の観察に適したポイントについての研究を行った。 2 繁殖に関する調査・研究 ・他園への聞き取り調査等を行い、チーター、サバンナゾウ、レッサーパンダ等の繁殖に関する調査・研究を行った。 ・希少種であるオヒキコウモリ、ヤマコウモリ、飼育困難種であるキクガシラコウモリ、ニホンノウサギの繁殖に取り組んだ。
各種資料の収集	通 年	Journal of ZOO and WILDLIFE MEDICINEなど動物に関する書籍・雑誌・資料を収集し、繁殖などの調査・研究に役立てた。

名 称	時 期	内 容
写真・動画などの制作	通 年	クロサイやサバンナゾウの繁殖行動、チーターの搬入、ライオンの搬出の様子などを写真・動画等に収録し、飼育技術の向上、継承及び調査・研究に役立て、事業記録として保存した。
学会・研究会への参加	通 年	(公社)日本動物園水族館協会や各種学会が主催する、動物園技術者研究会、中四国野生動物医療・看護勉強会、ゾウ会議、両生類爬虫類会議などに参加・発表した。
オオサンショウウオの調査研究・成果の公開	通 年	令和元年11月22日～25日に札幌市で開催された日本動物園水族館協会の種保存会議で「オオサンショウウオが繁殖移動する意義」と題して発表を行った。また、大学・博物館等との共同により、オオサンショウウオの調査研究を推進し、その成果をシンポジウムにより市民に公開した。 (シンポジウム参加者 80人)
研究活動発表会 (動物園・植物園・昆虫館共同事業)	2月10日	動物公園の研究成果を市民に発表する場を設け、「夜行性動物展示における照明器具の検討～LEDと光の色が動物展示に与える影響～」と題して発表した。(参加者 60人)

(オ) 野生動物の救護

名 称	時 期	件 数 等
野生動物の救護	通 年	哺乳類 9件 5種 15点 鳥類 73件 29種 78点 爬虫類 0件 0種 0点 両生類 0件 0種 0点 計 82件 34種 93点

ウ 教育・普及

(ア) 社会教育への協力

名 称	時 期	内 容	件 数 等
動物レクチャー・体験型環境学習プログラム	通 年	動物科学館2階ホールや動物展示場前において、随時、動物の生態や特徴についての話や体験学習を行った。	79件 5,132人
クイズ形式ワークシートの園内配布	通 年	幼時から大人までテーマ別に、クイズ形式のワークシートを作成・配布することにより、動物への関心や興味を喚起する機会を提供した。	配布枚数 18,000枚
ピーチクパークにおけるふれあい指導	通 年	ポニーの乗馬やテンジクネズミとのふれあい体験の場を提供した。	乗馬 6,584人 ふれあい 61,379人
動物クイズラリーの助成	通 年	遠足時におけるクイズラリーの相談を受け、助言やスタンプの貸出しを行った。	27件

名 称	時 期	内 容	件 数 等
実習生の受入れ	通 年	大学生などを受け入れ、博物館実習（学芸員実習）、飼育実習、獣医臨床実習を行った。	36 人
講演会・研修会への講 師 の 派 遣	通 年	大学や団体などの要請に基づいて、職員を講師として派遣し、動物の生態や自然などについて講演した。	2 件
教材資料の作製・貸出し	通 年	骨格標本など教材資料を作製し、学校などに貸出した。	64 件 183 点 利用者 8,219 人
専門学校と連携したイ ベ ン ト 実 習	通 年	専門学校と連携して、動物ふれあい活動やミニ動物園などを行い、学生が市民応対を通して、動物愛護思想の普及方法を実習できる機会を提供した。	2 件

(イ) 学校教育への協力

名 称	時 期	内 容	件 数 等
出 前 講 座	通 年	小・中学校及び高校に職員を派遣し、動物の生態や動物公園の仕事などについて講座を行った。	15 件 1,945 人
理科教育での連携	通 年	近隣にある日浦小学校での理科教育に講師の派遣、園内で体験学習、情報提供等により協力した。	6 件
教材生物バザールへの参加	5月17日	県立教育センターの要請に基づいて職員を派遣し、教材として動物試料を提供した。	1 件

(ウ) 市民・団体との協働

名 称	時 期	内 容	参加者数等
動物解説ボランティア	通 年	園内で動物解説活動に当たるボランティアを育成し、活動内容の充実を図った。 (解説ボランティア登録人数 49人)	活動延べ人数 206 人
作業ボランティア	通 年	園内で花づくりなどの作業に当たるボランティアを育成し、活動内容の充実を図った。 (作業ボランティア登録人数 43人)	活動延べ人数 748 人

名 称	時 期	内 容	件 数 等
大学・専門学校等との協働	通 年	大学・専門学校等と動物公園との相互協力により共同研究などを行った。	麻布大学 1 件 岡山理科大学 1 件 神奈川県立博物館 1 件 岐阜大学 1 件 九州大学 1 件 神戸大学 1 件 国際科学博物館 2 件 東邦大学 1 件 広島大学 2 件 広島学院高等学校 1 件 明治学院大学 1 件 北里大学 1 件
鹿角ストラップづくり ((公財)広島市文化財団)	4月29日	シカの角を使った縄文風のオリジナルストラップ作りを体験する場を提供した。また、市内で発掘された動物に関する出土品を展示した。	328 人
むし・花・ ZOO-ZOO ふれあい広場 (㈱広島東洋カープ)	5月22日	マツダスタジアムで動物ふれあい広場などを行った。	テゾクネズミふれあい 167 人 ヒヨコふれあい 468 人 ペビ展示 1, 596 人
サンちゃんの 一日警察署長 (安佐北警察署)	7月13日	夏の交通安全運動に合わせて、安佐動物公園のマスコット「サンちゃん」の着ぐるみが「一日警察署長」として交通安全に関する啓発を行った。	120 人
ドリームナイト・ アット・ザ・ズー (ジブラルタ生命保険㈱)	8月3日	障害児とその家族及び東日本大震災により 福島県から広島市に避難して来られた家族を招待して、ナイト・サファリ開催の1週間前に実施した。	2, 582 人
夕暮れコンサート ((公社)広島交響楽協会)	8月11日	夜間開園で、広島交響楽団による夕暮れコンサートを実施した。	約 700 人
わくわく!安佐動物公園 夏休み思い出作り (サンスター㈱)	8月25日	動物の歯や生態に関するステージイベント、バックヤードガイド、歯の健康相談などを行った。	2, 432 人
防災イベントin安佐動物公園 (国土交通省中国地方整備局、広島県 土木建築局、広島市危機管理室)	9月7日	国・広島県・広島市の防災担当と連携し、入園者の防災意識を高めるためのイベントを開催した。	入園者数 1, 231 人
動物たちも応援がんばれ サンフレッヂェ広島 (㈱サンフレッヂェ広島)	10月5日	サンフレッヂェ広島ホームゲーム会場において、動物や骨格標本の展示、動物に関するミニレクチャーを行い、動物公園をPRした。	約 500 人

名 称	時 期	内 容	参加者数等
Happy Bus 停 プロ ジ ェ ク ト (呉工業高等専門学校)	10月26日 (運転試験)	公共交通機関を利用した来園の促進等を目的に、学生主动で平成29年度から継続実施している同プロジェクトの第3弾として、「Happy Zoo バス」2台の運行を開始した。車内には、動物園をイメージした装飾、わくわく感が高まる聞いて楽しい放送を行い、車外の行き先案内用LEDパネルには日浦小学校の児童が考えたバスをPRする標語を表示した。	1件
秋のグリーンフェア2019 「いきものランド」 (フェア実行委員会)	10月26日 ~10月27日	植物公園で開催された秋のグリーンフェアにおいて、ウサギ、テンジクネズミの生体展示、骨格等の標本展示を行った。	参加者数 約400人
動物園で計量記念日 (広島市計量検査所・(一社)広島県 計量協会・広島市計量協会)	10月27日	11月1日の計量記念日にちなみ、動物の重さに関するクイズや解説を実施した。	60人
サンちゃんの 一日消防隊長 (安佐北消防署)	11月4日	秋の全国火災予防運動に合わせて、オオスカンショウウオのマスクットキャラクター「サンちゃん」が「一日消防隊長」として、火災予防パフォーマンスを行った。	100人
ボランティアとの 共 同 イ ベ ン ト	11月30日	ボランティアが中心となり、動物公園のヒツジの毛を使ってマスクットを作るイベント「フェルトでゆきだるま」を開催した。	96人
「広島市立大学 芸術学部日本画展」	1月25日 ~2月28日	広島市立大学芸術学部の学生が動物公園で描いた動物画や動物のいる風景の作品展を開催した。	展示作品数 24点

#### (エ) 広島動物愛好会の活動

会員内訳（個人会員：137人、家族会員：37家族144人、賛助会員：4社）

名 称	時 期	内 容	参加者数等
例 会 (第284回～第289回)	4月14日	「クロサイ『ハナ』モニュメント制作秘話」(講話)、園内見学	41人
	6月9日	「コウノトリの導入・繁殖・移送について」(講話)、園内見学	29人
	8月11日	「ハイラックスの移動」「ツキノワグマについて」(講話)、園内見学	37人
	10月13日	「サル舎について」(講話)、園内見学	35人
	12月8日	安佐動物公園今年の十大ニュース	41人
	2月9日	「冬鳥のお話」(講話)	29人
会 誌 の 発 行	年6回	愛好会の活動や動物公園の出来事などを載せた会誌「ズーミング」を発行した。	各回 200部
すづくりの送付	年4回	動物公園の出来事などを載せた「すづくり」を会員に送付した。	各回 200部

名 称	時 期	内 容	参加者数等
自然観察会	10月26日	瑞穂ハンザケ自然館で施設見学及び水生昆虫の観察を行い、北広島町志路原地区でオオサンショウウオの観察を行った。 (場所 瑞穂ハンザケ自然館、広島県北広島町)	19人
	1月26日	広島市安佐南区の古川で、カモ類やカワセミ、コサギ、ムクドリ、バンなど23種類の野鳥を観察した。 (場所 広島市安佐南区)	22人

(オ) コンクールその他催し物の開催

a コンクール

名 称	時 期	内 容	応募点数等
子ども写生大会 (中国新聞社共催)	5月19日	幼児、小・中学生を対象に、動物公園の動物や園内風景を題材とした写生大会を実施し、優秀作品を表彰した。	応募 607点 入選 157点
動物作文・詩コンクール	7月1日 ～9月13日	小・中学生を対象に、動物に関する作文・詩を募集し、優秀作品を表彰した。	応募 874点 入選 180点
動物画コンクール	7月1日 ～9月13日	動物公園の動物や園内風景を題材とした動物画を募集し、優秀作品を表彰した。	応募 3,430点 入選 365点
動物写真コンクール	8月1日 ～11月30日	園内の動物や風景などを題材とした写真を募集し、入賞作品を表彰した。	応募 369点 入選 41点
安佐南区子ども会連合会写生大会 (安佐南区子ども会連合会共催)	8月19日	安佐南区子ども会連合会による写生大会を共催により実施した。	参加 445人 入選 71点

b 観察会

名 称	時 期	内 容	参加者数
ダルマガエルの目覚め観察会	5月2日	飼育下で冬眠中のダルマガエルをミズゴケから掘り起こす作業などについて解説した。	44人
モリアオガエル観察会	6月2日	園内に生息する野生のモリアオガエルと、その卵塊を観察した。	70人
ビオトープで生きもの観察	6月9日	園内に整備したビオトープでカエルや昆虫などの生きものについての観察会を実施した。	120人
あおぞら自然観察会 (動物園・植物園・昆虫館共同事業)	11月10日	自然に関する理解を深めるため、竹原市忠海町(大久野島)で動植物や昆虫の観察会を実施した。	59人

c 動物教室その他催し物

名 称	時 期	内 容	参加者数等
飼育係が動物解説	通 年	園内での動物解説を、毎日時間を決めて數か所で実施した。動物の生態などを分かりやすく解説し、動物への理解を深めた。	17,559人
バックヤードガイド	通 年 <small>(毎週火曜日を除く各曜日)</small>	普段は見学することのできない動物舎などに案内し、動物公園の仕事や動物への理解を深める機会を提供した。	84回 1,880人
サンちゃんツアー (オオサンショウウオ保護増殖施設ガイドツアー)	通 年 <small>(毎週火曜日)</small>	毎月1回、オオサンショウウオ保護増殖施設を案内し、オオサンショウウオの保護活動が環境保全に繋がることを伝え、参加者の保護意識のかん養を図った。	10回 180人
動物公園春まつり	4月1日 ～5月6日 3月8日 ～3月31日	春の行楽シーズン中の各土・日曜日、祝日に様々な催し物を実施し、動物に関する知識の普及と入園者の増加を図った。	入園者数 118,263人
飼育の日イベント 「飼育係あるあるとおーっく」	4月14日	4月19日の「飼育の日」にちなみ、飼育係が動物の飼育に関する日頃の体験などを語るトークショーを開催した。	191人
世界バクの日イベント	4月27日	4月27日の「世界バクの日」にちなみ、マレーバクの解説や啓発パネルの展示を行った。	46人
糸つむぎ体験	5月5日	ヒツジの毛刈りで刈り取った羊毛から毛糸を紡ぐ体験コーナーを設けた。	68人
スマートフォンアプリダウンロード促進イベント	5月12日	オリジナルアプリのダウンロードを促進するため、ダウンロードした来園者に景品を進呈した。	130人
世界カワウソの日特別解説	5月29日	「世界カワウソの日」にちなんで飼育担当者による動物解説を行った。	59人
オウム・インコデー特別解説	6月15日	6月15日の「オウム・インコデー」にちなみ、希少動物であるインコについて解説した。	22人
世界キリンの日イベント ～キリンのことを知ろう～	6月16日	「世界キリンの日」にちなみ、アミメキリンの解説や啓発パネルの掲示などをを行った。	150人
動物愛称募集及び命名式 (ポニー)	(愛称募集) 7月20日 ～7月31日 (命名式) 8月12日	ポニーの愛称を入園者から募集するとともに、愛称の命名式を行った。 (愛称 ハルミ)	応募数 507票
動物へ暑中お見舞い	7月23日	大暑に、果物の入った氷やスイカなどをレッサーパンダやイノシシに与えた。入園者にもかき氷をプレゼントした。	参加者数 25人 かき氷プレゼント 21人
サマースクール	7月26日 7月29日	小学校4～6年生を対象に飼育実習を行い、動物の飼育方法や動物の暮らしについて学ぶ機会を提供した。	59人
動物園でどうぶつぬりえ	7月28日	動物の模様などのぬり絵を通じて、動物に関する知識の普及を図った。	165人

名 称	時 期	内 容	参加者数等
夜の動物園で動物観察 ( 寄 附 者 対 象 )	8月3日	みどり生きものサポーター等の寄附者を夜の動物公園に招待し、動物たちの夜間特有の行動を観察した。	26人
動物園で折り鶴を折ろう	8月3日	8月6日の平和記念日の前に、折り鶴を折るイベントを開催し、参加者には缶バッジを配布した。折り鶴は8月6日に入退場門に掲出した。	7人
動物公園秋まつり	9月15日 ~11月24日	秋の行楽シーズン中の各土・日曜日、祝日に様々な催し物を実施し、動物に関する知識の普及と入園者の増加を図った。	入園者数 127,498人
どうぶつウンチ研究室	9月15日	様々なうんちを観察し、動物による違いや体の仕組みについて解説した。	約200人
動物たちの長寿を祝う会	9月16日	敬老の日に、長寿の動物（チリーフラミンゴ）の表彰式を行い、入園者とともに祝った。	50人
レッサーパンダの日 動 物 解 説	9月21日	9月の第3土曜日が「国際レッサーパンダデー」であることにちなみ、安佐動物公園で飼育しているレッサーパンダの生態などについて飼育係が解説した。	79人
世界サイの日 クロサイのことを知ろう	9月22日	「世界サイの日」にちなみ、クロサイの生態や野生の現状について、クイズを交え、解説を行った。	25人
スポットガイド 「Zoo～っとよれば？」	9月22日	動物の体の特徴的な一部分を入園者に観察してもらうスポットガイドを実施した。	約300人
Zoo c a f e (飼育係と動物トーク)	10月6日 10月20日	飼育係が入園者と対話しながら動物の不思議や飼育のこぼれ話などをするサイエンスカフェを開催した。	220人
動物愛称募集及び命名式 ( レッサーパンダ )	(愛称募集) 10月12日 ~10月27日 (命名式) 11月9日	レッサーパンダの愛称を入園者から募集するとともに、愛称の命名式を行った。 (愛称 カカ・ププ)	応募数 2,509票
サンちゃんデー	10月14日	オオサンショウウオの「サンちゃん」の着ぐるみと一緒に、オオサンショウウオの体について学ぶイベントを実施した。	約600人
動物の毛皮を見てみよう	11月3日	様々な毛皮を観察し、動物による違いや体の仕組みについて解説した。	約300人
はたらく動物に感謝の日	11月23日	勤労感謝の日に、ポニー、テンジクネズミ、ヤギなどについて解説し、使役動物にまつわるクイズを出題した。	80人
動物観察えさやり体験デー	11月24日 12月1日	入園者がキリンへのえさやりを体験し、食べ方などを間近で観察できる体験デーを実施した。	100人
おとなための飼育体験教室	9月29日	野生動物への関心を深めるため、飼育実習と講義等を行った。	25人

名 称	時 期	内 容	参加者数等
動物公園冬まつり	12月14日 ～2月23日	冬季の各土・日曜日、祝日に様々な催し物を実施し、動物に関する知識の普及と入園者の増加を図った。	入園者数 57,862人
クリスマスカーブ選手がプレゼント	12月14日	広島東洋カープの遠藤選手を招聘し抽選で入園者に賞品をプレゼントした。	250人
動物園でしめ飾り作り体験	12月21日	お正月に向けて、日本固有の文化であるしめ飾り作りを行う体験イベントを開催した。	50人
元気に冬越し 冬至はかぼちゃ	12月22日	冬至に、ゾウやアヌビスヒヒなどにかぼちゃを与え、動物たちの健康を願った。	約50人
元日干支の動物 缶バッジをプレゼント	1月1日	元日に、干支の動物「子」(ネズミ)をデザインした缶バッジを入園者にプレゼントした。	200人
干支の動物がお出迎え	1月2日	新年を迎えるイベントとして、子(ネズミ)の着ぐるみと広島観光親善大使が来園者をお出迎えした。	約50人
新春動物かるたで遊ぼうよ!	1月3日	安佐動物公園の展示動物の特徴を紹介したオリジナル動物かるたを使ったかるた取りを開催した。	76人
新春子どももちつき体験	1月5日	新春を祝う行事として、子どもたちによるもちつき体験を行った。	59人
オリジナル缶バッジを作ろう	1月19日	動物への関心を高め、動物公園での思い出が形として残るよう、オリジナル缶バッジを作る工作教室を開催した。	222人
まんが動物園&動物 まんがクイズラリー	(漫画展示) 2月1日 ～2月23日 (クイズラリー) 2月9日 2月16日 2月23日	飼育係が描いたまんが解説パネルを展示し、そのまんがを題材にしたクイズラリーを行った。	1,770人
動物脱出対策公開訓練	2月11日	ツキノワグマが脱出したという想定で動物脱出対策公開訓練を行った。	入園者数5,017人 見学者 約500人

#### (カ) 学校教育活動の受入れ

名 称	時 期	内 容	参加者数等
なかよし動物教室	通 年	生きものへの関心を深めるため、保育園・幼稚園の園児を対象に、ポニーの乗馬やヤギ、テンジクネズミとのふれあいの場を提供した。	104件 2,934人
職場体験の受入れ	通 年	近隣にある日浦中学校の職場体験を受け入れた。	1件 6人
進路総合学習の受入れ	通 年	小・中学校や高等学校の進路総合学習の一環として行う職場見学を受け入れた。	10件 757人

名 称	時 期	内 容	参加者数等
環境学習の受入れ	通 年	「ヤギとなかよし」を行うなど、広島市立小・中学校が行う環境学習を受け入れた。	23 件 1,680 人

(キ) 企画展その他展示会の開催

名 称	時 期	内 容
動物たちと消防の写生大会入賞作品展	4月6日～4月12日	前年度の「動物たちと消防の写生大会」の入賞作品を展示了。
動物写真コンクール入賞作品展	4月27日～5月26日	前年度の「動物写真コンクール」の入賞作品を展示了。
子ども写生大会入賞作品展	6月8日～7月15日	中国新聞社と共に催で行った「子ども写生大会」の入賞作品を展示了。
企画展示「広島市立日浦小学校ポスター展」	7月20日～9月1日	広島市立日浦小学校との連携授業で小学5年生が作成した絶滅危惧種の動物に関するポスターを展示了。
動物画コンクール入賞作品展	11月2日～11月24日	「動物画コンクール」の入賞作品を展示了。
市民公募展 「細木陽平 動物絵画展」	12月7日～1月12日	障がい者アーティストの才能を活かす事業「アートビリティ」に登録されている細木陽平氏の動物をモチーフにした油彩・アクリル画展を開催した。

(ケ) 広報普及

名 称	時 期	内 容	件 数
マスコミによる広報	通 年	テレビ局・ラジオ局・新聞社・出版社などを通じて、催し物や赤ちゃん誕生などの話題を広報した。	広報件数 66 件 取材件数 198 件 《取材件数の内訳》 テレビ 81 件 ラジオ 46 件 新聞 63 件 その他 8 件
近隣県市町訪問広報	通 年	職員を派遣し、動物園で実施しているイベントや社会教育活動等をPRした。	2 件
動物レクチャー・体験型環境学習プログラムの普及	通 年	動物レクチャーや体験型環境学習プログラムに関する資料を市内学校などに配布し、利用を呼びかけた。	213 件
観光事業所との連携	通 年	観光事業所に職員を派遣し、動物公園事業をPRし、観光客の来園を促した。また、広島観光コンベンションビューローなどと連携して、観光客の増加を図った。	5 件
催し物案内ポスター・PR用チラシの配布	通 年	公共施設、観光事業所、郵便局長会等のネットワークや新聞折り込みを利用して、動物園の催し物案内ポスターやPR用チラシを配布した。	1,358 か所

名 称	時 期	内 容	件 数
動物写真パネル等の貸出し	通 年	動物の写真パネルやまんがを公共施設や事業所などに貸し出し、これらの場所を動物公園のPRの場とした。	13か所 260点
ホームページによる広報	通 年	ホームページにより施設の紹介、催し物、赤ちゃん誕生などの最新情報を提供した。	127件
ツイッターによる広報	通 年	情報共有力・拡散力の高いツイッターにより、施設、イベントなどの魅力ある情報を速やかに発信した。	632件
動物解説広場の実施	通 年	ジ・アウトレット広島やサンフレッヂ広島ホームゲーム会場において、動物や骨格標本の展示、動物に関するレクチャーなどを行い、動物公園をPRした。	2件
マスコットキャラクターを利用したPRの実施	通 年	オオサンショウウオのキャラクターの着ぐるみ「サンちゃん」等を積極的に園内外のイベントに参加させ、動物公園のPRを行った。	2件
保育園・幼稚園・小学校へのPR	通 年	市園長会、市小学校校長会等でPR活動を行い、遠足の誘致を図った。	2件
近隣団地へのPR	通 年	リピートが期待できるあさひが丘団地の連合自治会に巡回バス運行のお知らせやチラシを配布し、入園者の増加を図った。	1件
公共交通機関利用者へのPR	通 年	JR広島駅やアストラムライン上安駅、新白島駅及び県庁駅前に「夜間開園（ナイトサファリ）」のポスター等を掲示し、集客を図った。	4件

(ヶ) 出版物の発行

名 称	内 容	発行部数
「すづくり」「飼育記録集」「年報」	動物公園のニュース、動物の飼育記録や生態などを紹介した「すづくり」及び飼育動物の生態に関する研究や飼育技術などについての発表をまとめた「飼育記録集」などを発行、配布し、動物に関する知識の普及や動物園事業の周知を図った。「年報」についてはホームページ上で公開した。	すづくり 4回計3,200部 飼育記録集 220部

(コ) 動物に関する相談

名 称	時 期	件 数
動物相談	通 年	飼育相談 35件 野生動物の救護 26件 引取依頼 42件 有害鳥獣の駆除対策 21件 その他一般相談 72件 計 196件

### ③ 植物公園の管理運営 [公2事業]

広島市から指定（期間：平成30年4月1日～令和4年3月31日）を受けた広島市植物公園における植物の栽培・展示、収集及び栽培管理、入園料の収受、施設の維持管理などを行い、入園者が施設を安全かつ快適に利用できるよう努めた。

また、他団体との連携や調査・研究の成果を生かして、生息域内保全と生息域外保全の両面から生物多様性の保全に貢献するとともに、社会教育への協力、学校教育活動の受入れや講座その他催し物の開催など各種事業を実施し、植物に関する知識及び植物愛好心の普及、かん養並びに植物愛好者の育成を図った。

#### ア 植物の栽培・展示など

##### (ア) 植物の栽培・展示

[展示場所] 主な展示植物	内 容
[大温室] ヤシ、ラン、オーストラリアバオバブ、熱帯果樹など	最高部が21mある温室の大きさを活かし、巨大な熱帯植物とそれらが醸し出す熱帯の雰囲気を体感できる展示を行った。立体交差やバリアフリー対策を新たに施した通路から観賞しやすいよう、熱帯の水辺、熱帯の花、熱帯の果実などにゾーニングしたエリアに約700品種5,000株の亜熱帯、熱帯植物を効果的に展示した。また、シンボルツリーとして導入した国内最大のオーストラリアバオバブを活用してタッチингイベントを4月と10月に行った。
[サボテン温室] サボテンなど	サボテン類や多肉植物約320品種500株を科ごとに分けて植栽し、説明板や写真パネルを付けて展示した。乾燥地に適応した特異な形態や植物の適応戦略の面白さを知ることで、生き物に対する興味の高揚を図った。
[熱帯スイレン温室] 熱帯スイレンなど	多彩で美しい花を咲かせる約50品種100株の熱帯スイレンを植栽し、エキゾチックな憩いの空間を提供した。また、巨大な葉を持つオオニバスを展示して夏休み期間中に試乗体験会を行ったほか、子どもに人気の高いウツボカズラやハエトリグサなどの食虫植物を、模型や解説パネルを交えて展示するコーナーを設けるなど、子どもが植物に興味を抱くきっかけ作りの場とした。
[ベゴニア温室] 球根ベゴニアなど	季節を問わず美しい花を楽しむことのできる癒しの空間を提供するために冷暖房と電気照明設備を活用し、世界で最も美しい花の一つと言われる球根ベゴニアを周年開花させ、680品種の様々なベゴニアと合わせて展示した。また、球根ベゴニアの生育過程を解説展示することで、植物を育てるに興味を抱く機会を提供した。
[フクシア温室] フクシア、野生ランなど	風鈴のようにチャーミングな花を咲かせるフクシア約260品種300鉢を周年展示し、非日常的な植物の美しさを楽しむ場とした。また、野生ランコーナーでは当園の主要なコレクションである世界の野生ランを、解説パネルなどを交えて展示し、ランの不思議な世界を観賞できる機会を提供した。
[カスケード] インパチェンス、ペチュニアなど	年間2,000基以上のプランターやコンテナを設置し、季節を代表する草花を展示して家庭園芸の見本とした。また、巨大ハンギングバスケットを季節やイベントに合わせて草花やクラフトなどで飾った。

[展示場所] 主な展示植物	内 容
[展示温室] ゼラニウムなど	世界のラン、ゼラニウム、セントポーリアとイワタバコの仲間、食虫植物、薬用植物、変化アサガオなど植物公園が保有するコレクションと、近郊の愛好家が出品するエビネ、セッコク・長生蘭、ウチョウラン、サボテン、オモトなど、季節にふさわしい植物を年間18回展示した。
[芝生広場] サクラなど	入園者の憩いの場、語らいの場のほか、子どもの遊び場として利用した。また、周辺にはサクラ類、マンサク、ロウバイ、アンズなどの花木類を植栽・展示し、早春から春のベストシーズンにかけて見頃となるゾーンとした。
[花の進化園] スイレン科、ユリ科、キク科、ラン科など	種子植物を科ごとにまとめて植栽し、分類や進化の説明をつけて展示することにより、入園者が実物を観察しながら、花の進化について理解を深める場とした。また、被子植物の新しい分類体系として最近主流になりつつあるAPG分類体系へ順次移行を図った。
[屋外展示場] クレマチス、山野草など	愛好家が出品するクレマチス、山野草のほか、サクラソウ、アジサイ、中国ギクなど植物公園の収集・保存の成果を紹介・展示了。
(ロックガーデン うらら池散歩道 里山の野草園 エーデルワイス、ナミキソウ、 セツブンソウ、ヒゴタイ、 ヤチシャジンなど)	ロックガーデンには高山や海岸といった厳しい環境に適応した種を、うらら池の散策路沿い及び里山の野草園には主に広島県内の林床、草原、水辺など里山の環境に自生する種を植栽・展示了。野生植物の多様な姿や絶滅危惧植物を紹介し、植物の自生状態や自然保護への関心を促した。
(休憩展望塔から うらら池湖畔 アジサイ)	休憩展望塔西側斜面からうらら池東側斜面にかけてアジサイを順次追加植栽し、既存の日本庭園周辺とあわせてアジサイをめぐる回廊をつくることによって、梅雨頃の魅力アップを図った。
[バラ園] バラ	広島市に寄贈された品種、野生種、オールドローズや古花と呼ばれる希少な園芸品種の植栽展示に力を入れることで他のバラ園との差別化を図り、バラの遺伝子資源の保全に貢献した。また、適所に新品種を配置し、バラに包まれたくつろぎの空間を提供した。
[ツバキ園] ツバキなど	季節感に溢れ、日本が世界に誇る園芸植物の一つであるツバキを植栽・展示了。周囲には、サザンカ類、ヒメシャラなどの野生種や、タイワンフウ、イロハモミジ、ニッサなど紅葉の美しい樹木を植栽し、秋から冬にかけての見どころとした。また、エリア内に設置しているバタフライガーデンにはチョウを引き寄せるフジバカマなどの植物を植栽し、憩いの空間を提供した。
[日本庭園] ウメ、ハナショウブ、 アジサイなど	本格的な茶室を中心に、ウメ、ハナショウブ、アジサイ、モモ、コケの見本園など和風の植物を植栽し、落ち着いた雰囲気でくつろげる空間を提供した。ハナショウブ園では後世に伝えたい古花の展示に努め、江戸期に育成された古花を中心に1,000株を展示するなど、他の大規模なハナショウブ園との差別化を図った。また、最奥部では自生地に近い環境を生かし、ヤマアジサイ、エビネの植栽展示を行った。

[展示場所] 主な展示植物	内 容
[樹林観察園] シイ類、ブナ、カエデ類など	西南日本の常緑広葉樹林と落葉広葉樹林の構成種を植栽し、これらの樹林の環境や樹木について現地に行くことなく体感、学習できる場を提供した。
[こども花壇] パンジーなど	春にパンジー、夏にキバナコスモス、秋にコスモスの迷路を作り、子どもが楽しめる場を提供した。
[展示資料館壁面] 〔通路スペースなど〕 アサガオの巨大カーテン、 巨大ダリアなど	技術力が必要な巨大な植物、珍しい植物など入園者に驚きを与える植物の展示を行った。

### 【植物の栽培展示数】

(令和2年3月31日現在)

区 分	種 類	本 数
大 温 室	700 品種	5,000 本
サボテン温室	320 品種	500 本
熱帯スイレン温室	100 品種	600 本
ベゴニア温室	680 品種	2,000 本
フクシア温室	300 品種	370 本
栽培温室	3,900 品種	32,500 本
バラ園	700 品種	1,000 本
ツバキ園	200 品種	600 本
花の進化園、樹林観察園その他	3,100 品種	154,430 本
合 計	10,000 品種	197,000 本

### (イ) 植物の収集及び栽培管理

名 称	内 容
展示・保存植物の維持、充実	計画的な増殖や種子・種苗の交換などにより、展示植物や保存植物の維持、充実を図った。
栽培下における増殖	サクラソウ、ハナショウブ類など希少な植物や、球根ベゴニアやフクシアなど周年展示している展示上重要な植物の増殖を行った。
種子・種苗の交換	国内外の植物園などと種子の交換を行い、多くの植物を収集して、貴重な種の保存を行うとともに、育苗して植栽・展示し、植物に関する知識の普及を図った。 譲受け：3か国 3か所 14種 譲渡し：国内3施設 5種
種 苗 の 導 入	ランの原種やバオバブなどの珍しい植物のほか、市場などの情報調査によって、季節ごとに展示する魅力ある植物を導入した。
植物の栽培管理	生育状態を良好に保ち、病害虫被害の発生を未然に防ぐため、品種ごとに灌水、施肥、剪定、温度・湿度の管理、必要に応じた薬剤散布などを適切に行い、栽培環境の向上を図った。

(ウ) 入園料の収受 (利用料金制)

【入園状況】

区分				入園者数	使用料
有料入園者	個人	大人	18歳以上 65歳未満	510円	47,159人
			65歳以上	170円	19,742人
		小人	18歳未満(小・中学生を除く)	170円	595人
	年間パスポート	大人	18歳以上 65歳未満	1,540円 1,560円	1,665人 703人
			65歳以上	510円	1,483人
		小人	18歳未満(小・中学生を除く)	510円	10人
	提示	大人	18歳以上 65歳未満	—	9,417人
			65歳以上	—	6,039人
		小人	18歳未満(小・中学生を除く)	—	16人
	団体		18歳以上 65歳未満	430円	2,005人
			65歳以上	130円	1,108人
	小人	18歳未満(小・中学生を除く)	130円	96人	
	優待割引		18歳以上 65歳未満	430円	22人
			65歳以上	130円	12人
	小人	18歳未満(小・中学生を除く)	130円	0人	
小計				90,072人	32,960,280円
減免等入園者(小・中学生、社会福祉施設、その他)				71,762人	0円
合計				161,834人	32,960,280円

(エ) 利用促進

名称	時期	内容	入園者数等
年間パスポートの販売 (動物園・植物園・昆虫館共同事業)	通年	より多くの方に植物公園の魅力に触れる機会を提供するため、動物公園・昆虫館と共に利用できる年間パスポートを販売し、利用者に対するサービスの向上及びリピーターの確保を図った。	販売枚数 3,861枚
電動カートの運行	通年	毎週土・日曜日、祝日に勾配のある園内の移動手段として、電動カートを巡回し、入園者サービスの向上を図った。	12,344人
さくらまつり	4月1日 ～4月21日 (土・日)	桜の見頃時期に合わせ、桜観賞会や写真撮影講習会、コンサートなどのイベントを実施し、入園者の増加を図った。	11,333人

名 称	時 期	内 容	入園者数等
夜 間 開 園	4月6日 4月7日 8月24日 9月7日 9月8日 9月14日 9月15日 9月21日 11月23日 11月24日 11月30日 12月1日 12月7日 12月8日 12月14日 12月15日 12月21日 12月22日	夜に開花する植物(オオオニバス・サガリバナ・月下美人)、夜に香る植物(夜香木、夜来香)、桜などのライトアップや、キャンドルとイルミネーションを使った幻想的な空間づくり、コンサートなどを行い、植物公園の魅力を向上させ、入園者の増加を図った。	夜間入園者数 (16時以降の入園者数) 1, 553 人 601 人 45 人 127 人 90 人 2, 470 人 3, 175 人 1, 422 人 1, 611 人 311 人 1, 838 人 300 人 1, 790 人 1, 052 人 1, 748 人 1, 183 人 1, 965 人 282 人 計 21, 563 人
休 園 日 の 開 園	4月12日 5月2日 10月25日 2月28日 3月19日	造幣局花のまわりみち、ゴールデンウイーク及び秋のグリーンフェア期間中の休園日を開園し、利用者に対するサービスの向上を図った。	408 人 1, 665 人 163 人 265 人 289 人 計 2, 790 人
クイーン・エリザベス寄港記念おもてなしイベント(佐伯区役所共同事業)	4月30日	クイーン・エリザベスの五日市埠頭寄港に伴い、佐伯区内の施設や商店街と連携しておもてなしのイベントを実施した。	930 人
みどりの日・植物園の日記念行事	5月4日	みどりの日と植物園の日を記念し、花苗のプレゼントやコンサートなど様々なイベントを実施した。	3, 671 人
区民ウォーキング大会 in 植物公園(佐伯区役所共同事業)	5月25日	手軽な健康づくりの場としての利用を通じて、植物公園の利用促進を図るため、市民を対象にウォーキング大会を実施した。	404 人
サマー フェア	7月13日 ~8月31日	夏休み期間中を中心に、芝生広場での巨大噴水迷路などを実施し、入園者の増加を図った。	24, 800 人
秋のグリーンフェア会場としての利用	10月19日 ~10月27日	秋のグリーンフェアの会場として期間中の入園料を無料とし、入園者サービスの向上並びに入園者数及び収入(駐車料など)の増加を図った。	9, 656 人
開園記念日記念行事	11月3日	開園43周年を記念し、パンジー・マリポサの花苗プレゼントやコンサート、丸太切り体験など様々なイベントを実施した。	1, 393 人
バレンタインフェスティバル	2月8日 ~2月11日	チョコ作り体験会、99本のバラの花束を持った記念撮影コーナーなど様々なイベントを実施した。	1, 985 人

(オ) 施設の維持管理・園内サービス

名 称	時 期	内 容
施 設 の 維 持 管 理	通 年	入園者に安全・快適な観察環境を提供するため、園内の清掃・警備を行った。また、温室などの建物や機械・電気などの設備を良好な状態で利用できるよう維持管理や小規模修繕を行った。
利 用 案 内	通 年	入園者が快適に観察できるよう、標識、リーフレットや園内放送などにより利用案内を行った。
緊 急 時 な ら ど の 対 応	通 年	傷病者の救護、迷子の捜索・保護、拾得物・遺失物の管理などを行った。
樹 木 ラ ベ ル の 充 実	通 年	樹木ラベルの追加・更新、雌雄の表示を行った。

イ 生物多様性の保全

(ア) 生息域内保全

名 称	時 期	内 容	件 数
生 息 地 に お け る 絶滅危惧植物の保全	通 年	世羅郡世羅町など広島県内の自生地において、絶滅に瀕したヤチシャジンの調査や保全活動を行った。	1 件

(イ) 生息域外保全

名 称	時 期	内 容	種 数 等
生息地以外における 絶滅危惧植物の保全	通 年	様々な野生ラン、ヤチシャジン、ヒゴタイなど広島県内産種を中心に、日本の絶滅危惧植物を保全した。また、(公社)日本植物園協会の多様性保全拠点園事業に参加し、「植物多様性保全2020年目標」達成に貢献した。	日本産 120 種 ワシントン条約 98 種
園芸植物遺伝子の保護	通 年	変化アサガオ、日本サクラソウ、ゼラニウムやバラの古い園芸品種など、保護が必要な園芸植物を栽培・保存した。(公社)日本植物園協会が行うナショナルコレクション検討委員会に参加し、「植物多様性保全2020年目標」達成に貢献した。	66 種 約 400 系統 検討会 2 件

(ウ) 植物に関する調査・研究

名 称	時 期	内 容
植物に関する調査・研究	通 年	《植生調査》 主に県内の植物分布などの調査を行い、希少植物や分布上貴重な植物について、自生状況を記録するとともに保護に努めた。
		《成果の公表》 植物に関する調査・研究活動により得られた知見を学会や印刷物により公表した。
新 品 種 の 保 護	通 年	農林水産省からの依頼による、種苗法に基づく新規出願品種の現地調査員、種苗登録に関する基準案作成検討委員としての活動により、新品種の保護に努めた。
各 種 資 料 の 収 集	通 年	植物の標本及び植物に関する書籍・雑誌・資料を収集し、栽培や調査・研究に役立てた。
植 物 標 本 の 活 用	通 年	広島県内の植物標本庫における相互ネットワークを構築し広島大学などの県内の標本庫と情報交換を行った。
研 究 活 動 発 表 会 (動物園・植物園・ 昆 虫 館 共 同 事 業)	2月10日	植物公園の研究成果を市民に発表する場を設け、「特別企画展「種子の不思議展」について」と題して発表した。 (参加者 60人)

ウ 教育・普及

(ア) 社会教育への協力

名 称	時 期	内 容	件 数 等
講習会・研修会などの開催及び講師の派遣	通 年	団体の要請に基づいて、随時、植物公園で講習会・研修会などを開催するとともに、職員を講師として派遣した。	3 件
実習生の受入れ	通 年	大学生などを受け入れ、博物館実習（学芸員実習）などを行った。	11 件 18 人
森の幼稚園を活用した保育者指導	6月2日 10月6日	幼児教育の専門家を招き、保育者等を対象とした自然体験プログラムの指導を行った。	21組 56人 22組 51人
市 民 講 座	9月8日	「植物和名にみる笑葉学」と題して、神田博史氏による講座を行った。	75 人
	10月22日	「ウィーンの街と緑～音楽の都に学ぶ緑地のあり方」と題して、中越信和氏による講座を行った。	25 人

(イ) 市民・団体との協働

名 称	時 期	内 容	活動者数等
植物解説ボランティア	通 年	園内で植物解説活動に当たるボランティアを育成し、活動内容の充実を図った。 (解説ボランティア登録人数：54人)	活動延べ人数 1,216人
植物管理ボランティア	通 年	園内で植物管理に当たるボランティアを育成し、活動内容の充実を図った。 (管理ボランティア対象人数：135人)	活動延べ人数 128人
地域団体などとの協働	通 年	造幣局広島支局「花のまわりみち」の桜樹育成指導や文化活動などにより、地域の活性化を図った。また、(公社)日本植物園協会総会の開催や展示協力などを行った。	26件  《内訳》 造幣局桜樹育成講習会 2件 樹木委員会会議 10件 ささやかーかか外 7件 広島県ラン展 6件 広島平和文化センター 重慶の日記念行事 1件
グリーン・レガシー・ヒロシマへの協力	通 年	被爆樹木の種子を国内外の都市へ送付する活動に対し、種子の保存や送付の協力を行った。また、被爆樹木のラベル取付作業に協力した。	40件

【愛好者団体による展示会】

名 称	時 期	内 容
おし花美術作品展	4月6日～5月6日	身近な草花や花木を素材としたおし花の美術作品を展示した。
エビネ展	4月20日～4月23日	日本の野生ランの中で最も美しく、花色の多いエビネを展示了。
春の山野草展	4月20日～4月25日	春咲きの山野草を野趣あふれる鉢作りで展示了。
クレマチス展	4月27日～5月6日	テッセンやカザグルマの名で親しまれる色とりどりの大輪の花が美しいクレマチスの仲間を展示了。
セッコク・長生蘭展	5月4日～5月9日	日本の野生ランであるセッコクとその中で斑入りなどの特徴を持ち長生蘭と呼ばれる品種を展示了。
趣味のボタニカルアート展	5月8日～6月5日	ボタニカルアート(植物細密画)を展示了。
遅咲きクレマチス展	5月18日～5月21日	小型で可愛らしいヴィチセラ系や遅咲き大輪系を中心にクレマチスの仲間を展示了。
初夏の小品盆栽展	6月8日～6月10日	フウチソウやツツジなど、初夏に見頃の植物を小鉢仕立てで展示了。
ウチョウラン展	6月8日～6月13日	初夏に可憐な花を咲かせる小型の野生ランであるウチョウランを岩付けや大鉢作りで展示了。
冬虫夏草と昆虫展	6月15日～7月24日	昆虫やクモ、ダニ等に寄生してこれらの生き物を殺して子実体(菌糸の集合体)を形成する特殊な生活環境をもつ冬虫夏草を紹介した。

名 称	時 期	内 容
ボタニカルアート作品展	7月27日 ~9月4日	ボタニカルアート(植物細密画)教室の作品を展示した。
植物友の会作品展	9月7日 ~9月15日	広島市植物公園植物友の会会員による鉢花や植物写真、美術作品、クラフトなどを展示した。
私の好きな花たちの写真展	9月19日 ~10月14日	身近な植物を題材とした写真を展示した。
野生きのこ展	9月28日 ~9月29日	広島県に自生する様々なキノコを展示した。
サボテン展	9月28日 ~10月14日	変化に富んだサボテンや多肉植物を展示した。
ガーデニングコンテスト作品展	10月2日 ~11月4日	一般公募によるコンテナガーデン(花の寄せ植え)とハンギングバスケットを展示した。
秋の山野草展	10月5日 ~10月10日	秋咲きの山野草を野趣あふれる鉢作りで展示した。
ハンギングバスケット展	10月26日 ~11月4日	ハンギングバスケットを展示し、作り方などを紹介した。
寒 蘭 展	11月9日 ~11月14日	東洋蘭の中でも特に清楚で気品のある寒蘭を展示した。
新春小品盆栽展	1月4日 ~1月6日	松・竹・梅など、新春を飾るにふさわしい植物を小鉢立てで展示した。
植物写真コンテスト作品展	1月11日 ~1月26日	園内の植物や風景をテーマに募集した植物写真コンテストの入賞作品を展示した。
おもと(万年青)名品展	2月11日 ~2月17日	葉の斑入り模様や形の変化が面白い万年青を展示した。
フラワーデザイン展	2月22日 ~2月27日	切り花やドライフラワーなど様々な素材を生かしたフラワーデザインの作品を展示した。
クリスマスローズ展	2月22日 ~3月1日	多彩な花色と品種に人気があるクリスマスローズを展示した。

#### (ウ) 植物友の会の活動

会員内訳 (個人会員: 107 人、家族会員: 14 家族 28 人、賛助会員: 8 社)

名 称	時 期	内 容	参加者数
会 誌 の 発 行	年4回	植物の話題や友の会の活動、植物公園の出来事などを載せた会誌「はなの輪」を発行した。	春号 300 冊 夏号 300 冊 秋号 300 冊 冬～初春号 300 冊
例 会	5月19日	春の園芸作業、ロビー展解説	36 人
	9月15日	秋の園芸作業、行事報告	35 人
	11月17日	冬の園芸作業、園内植物観察、種子に関するためになる話	30 人
	1月12日	講演「バオバブの開花、特別企画展解説」	33 人

名 称	時 期	内 容	参加者数
講 習 会	6月8日	苔玉作りを行った。	10人
野 外 觀 察 会	6月16日	広島県立中央森林公園（三景園）の観察を行った。（場所 広島県三原市）	14人
	11月15日	龍頭峡周辺の自生植物の観察を行った。（場所 山口県岩国市、講師 中坪 孝之氏）	15人

(エ) 講座その他催し物の開催

a 講座

名 称	時 期	内 容	参加者数
ガーデニング講座 ～基礎から応用まで～	4月20日	ハンギングバスケットの寄せ植え	20人
	11月30日	寄せ植えコンテナ作り	21人
植物学入門講座	6月5日	花のつき方（1）	21人
	6月12日	花のつき方（2）	19人
	6月19日	花のつき方（3）	18人
暮らしに役立つハーブ講座	7月13日	ハーブの栽培・ハーブの挿し芽など	11人
	7月20日	ハーブのお掃除クリーナー作りなど	10人
	7月27日	ハーブクラフト・香るバラのリース作りなど	11人

b 講習会・実演会

名 称	時 期	内 容	参加者数等
さくら写真撮影講習会	4月6日	初心者向けにサクラの写真の撮り方にについて指導した。	17人
	4月13日		17人
春の山野草実演会	4月21日	春の山野草の栽培方法について実演指導した。	20人
エビネ実演会	4月21日	エビネの育て方について実演指導した。	50人
クレマチス実演会	5月3日	クレマチスの育て方について実演指導した。	42人
セッコク実演会	5月5日	日本の野生ランであるセッコクの育て方について実演指導した。	20人
バラ講習会	5月18日	「鉢で美しく咲かせるバラ」と題して、沖田靖氏による講習を行った。	120人
ボタニカルアート色付け講習会	5月19日	ボタニカルアート（植物細密画）の色付けについて指導した。	16人
ハーブ実演会	5月19日	ハーブの寄せ植えや使用法を指導した。	46人
アジサイ実演会	6月2日	アジサイの育て方について実演指導した。	33人
	6月8日		30人

名 称	時 期	内 容	参加者数等
ハナショウブ実演会	6月9日	ハナショウブの育て方について実演指導した。	20人
小品盆栽実演会	6月9日 1月5日	小品盆栽の仕立て方、育て方について実演指導した。	12人 23人
食虫植物実演会	8月4日	食虫植物を紹介し、栽培方法や魅力について実演指導した。	49人
植物写真撮影講習会	10月5日	植物の写真の撮り方について指導した。	17人
秋の山野草実演会	10月6日	秋の山野草の栽培方法について実演指導した。	18人
寒蘭実演会	11月10日	寒蘭の育て方について実演指導した。	10人
クリスマスリース作り講習会	11月24日	クリスマスリースの作り方について指導した。	30人
カカオニブ磨碎実演会	2月8日 2月9日	専用石うすによるチョコの製造を実演指導した。	288人
おもと(万年青)実演会	2月15日	万年青の栽培管理について実演指導した。	4人
クリスマスローズ実演会	2月22日 2月23日	クリスマスローズの育て方について実演指導した。	12人 41人
フラワーデザイン実演会	2月23日	暮らしの中のフラワーデザインについて実演指導した。	59人
洋ラン実演会	2月23日 2月24日	洋ランの育て方等について実演指導した。	25人 25人
椎茸栽培講習会	3月20日	新型コロナウイルス感染予防のため、ホダ木(菌打ち済み)の販売のみ行った。	販売本数 34本

### c 講演会・展示解説

名 称	時 期	内 容	参加者数
ハーブ展解説	5月11日	ハーブ展について解説した。	14人
冬虫夏草講演会	7月14日	冬虫夏草の不思議さや魅力について、写真を交えて解説した。	121人
変化朝顔展解説	8月25日	変化朝顔展の展示と変化アサガオの育て方について解説した。	26人
薬用植物展示解説	9月15日	薬用植物展に出品している植物について解説を行った。	10人
サボテン展解説	9月29日	サボテン展の解説を行った。	20人
ガーデニングコンテスト受賞作品解説	10月27日	ガーデニングコンテストの受賞作品と審査のポイントの解説を行った。	12人
特別企画展講演会	12月1日	「種子はどのように広がるか」と題して、中西 弘樹氏による講演を行った。	70人
カカオニブ講演会	2月11日	「チョコのサイエンスロマン」と題して、佐藤 清隆氏による講演を行った。	130人

d コンクール

名 称	時 期	内 容	参加者数
ラン審査会	4月27日 10月26日 2月21日	ランの栽培技能の向上を図るため、ラン展展示協力団体から出品されたランを審査し、優秀作品を表彰した。	25人 133点 19人 93点 47人 297点
ガーデニングコンテスト	9月1日 ~10月9日	コンテナガーデン(花の寄せ植え)とハンギングバスケットを一般公募し、優秀作品を表彰した。	応募 50点 入選 18点
植物写真コンテスト	9月1日 ~11月30日	植物公園の植物や園内風景を題材とした写真を募集し、優秀作品を表彰した。	応募 395点 入選 52点

e 観察会

名 称	時 期	内 容	参加者数
職員による植物うんちくガイド	4月9日	ゼラニウム展 解説	50人
	4月27日	春の草花めぐり	38人
	5月14日	見ごろのバラ	40人
	5月25日	セントポーリア展 & 乾燥地の植物解説	21人
	6月11日	和の植物見て歩き（紫陽花・花菖蒲）	42人
	6月22日	初夏の大温室 探検	38人
	7月9日	夏の植物めぐり	30人
	7月27日	身近な夏の花壇と鉢植え植物	24人
	8月13日	フクシアと食虫植物のはなし	18人
	8月24日	オオオニバスの不思議	26人
	9月10日	秋の大温室 探検	14人
	9月28日	土づくりの世界	10人
	10月8日	秋の花と蝶の世界	20人
	10月26日	見ごろの秋バラ	20人
	11月12日	特別企画展 種子の不思議展 解説	14人
	11月23日	紅葉狩りに出かけよう	26人
	12月10日	ベゴニア観賞会	20人
	1月14日	知って得する竹のはなし	18人
	1月25日	樹木の剪定と樹形のはなし	22人
	2月11日	バレンタイン&カカオのはなし	32人
	2月22日	春の妖精を見に行こう	15人

名 称	時 期	内 容	参加者数
うらら池の自然散策	4月28日 7月13日 8月3日 11月9日	うらら池やロックガーデンの野生植物を散策しながら観察した。	12人 9人 7人 6人
園内生き物探訪	-	外部講師及び本園職員による生き物観察を行った。	合計 1,973人
モリアオガエル観察会	6月1日	園内に生息するモリアオガエルを観察した。	50人
カブトムシと学ぶ樹木	7月6日 7月7日 7月13日 7月15日 7月20日 7月27日 7月28日	屋外に設営した小屋の中にカブトムシを放ち、実際に手に取って触れ合える場を提供した。また、カブトムシとカブトムシが寄って来る樹木について親子向けの講習会を開催した。	120人 110人 139人 550人 140人 159人 365人 計 1,583人
冬虫夏草観察会	7月14日	園内で発生している冬虫夏草類の観察を行った。	130人
きのこ観察会	9月29日	園内に自生するキノコを散策しながら観察を行った。	82人
アサギマダラ観察会	10月13日	園内に飛来するアサギマダラとその吸蜜植物フジバカマを観察した。	23人
野鳥観察会	1月13日	園内に飛来する野鳥を観察した。	105人
あおぞら自然観察会 (動物園・植物園・昆虫館共同事業)	11月10日	自然に関する理解を深めるため、大久野島で動・植物や昆虫を観察した。	59人

#### f 植物教室その他催し物

名 称	時 期	内 容	参加者数等
ジュニアプロジェクト	4月14日 5月12日 6月9日 7月14日 8月11日 9月8日 10月13日 11月10日	ガイドボランティアが園内の植物や自然を通じて、植物や環境について楽しく学べる自然体験プログラムを実施した。	46人 10人 47人 18人 53人 15人 39人 46人 計 274人
バオバブタッチングイベント	4月30日 10月22日	大温室のシンボルツリーであるオーストラリアバオバブをタッチできるイベントを期間限定で開催した。	478人 860人 計 1,338人

名 称	時 期	内 容	参加者数等
オリエンテーリング	5月4日 7月13日 ~8月31日 11月2日 ~11月4日	みどりの日、サマーフェア、開園記念日にオリエンテーリングを開催し、参加者に記念品を進呈した。	800人 4,249人 1,200人 計 6,249人
ハナショウブ & アジサイまつり	6月1日 ~6月23日 (土・日開催)	ハナショウブやアジサイの見頃の時期に合わせ、栽培講習会、お茶会、花の解説などを行った。	8,107人
森 の 幼 稚 園	6月2日 10月6日	幼児と保護者を対象に園内の植物や自然を通じて、楽しく学ぶ機会を提供するとともに、保育者等を対象とした自然体験プログラムの指導を行った。	21組 56人 22組 51人 計43組107人
親子植物体験教室	7月24日	小学校1~3年生とその保護者を対象に、植物の観察などを通じて植物について楽しく学べる教室を実施した。	17組 21人
オオオニバス試乗体験会	8月14日 8月17日 8月18日 8月20日	小学生(低学年)以下を対象に、オオオニバスの葉に乗る体験会を実施した。	393人 447人 448人 272人 計1,560人
植物ガイド (寄附者対象)	12月8日	植物への理解を深めるため、夜間開園の特別公開日に、夜咲く花、香る花など特徴ある植物について解説した。	1組

(イ) 学校教育活動の受入れ

名 称	時 期	内 容	件 数 等
自然体験学習の受入れ	通 年	小・中学校が行う自然体験学習を受け入れるほか、オリエンテーリングの相談に応じ、植物や自然保護などについて指導した。	27件 2,366人
職場体験などの受入れ	通 年	中学校の職場体験や高等学校のインターンシップを受け入れ、指導した。	5件 18人

(カ) 企画展その他展示会の開催

名 称	時 期	内 容
ゼラニウム展	4月1日 ~4月17日	多彩な花色と葉の模様・色が美しいゼラニウムや、豪華なペラルゴニウムなどを展示した。
サクラソウ展	4月13日 ~4月18日	花の形や色の変化に富むサクラソウを展示した。
春の洋ラン展	4月27日 ~5月2日	春咲きのランの原種や交配種を展示し、ランの魅力を紹介した。
ハーブ展	5月11日 ~5月23日	ハーブとして利用されている植物とその利用方法を紹介した。

名 称	時 期	内 容
ローズフェスティバル	5月11日 ～5月26日	春バラの展示を中心に、バラに関する講習会やガイドツアーを行った。
セントポーリアとイワタバコの仲間展	5月25日 ～6月6日	可憐で人気のあるセントポーリアとその仲間のイワタバコ属を展示した。
ア ジ サ イ 展	6月1日 ～6月23日	花の色の変化に富むアジサイの原種や園芸品種などを展示了。
夏のカラフルリーフ展	6月19日 ～7月15日	斑入り植物や様々な色の葉を持つ植物を展示了。
世界の食虫植物展	7月20日 ～8月18日	ハエトリグサやウツボカズラなど、子どもたちに人気のある世界の食虫植物を展示了。
変 化 朝 風 展	8月24日 ～9月1日	花や葉が変化した珍しいアサガオを展示了。
薬 用 植 物 展	9月7日 ～9月26日	ウコンやキキョウなどの薬用植物を展示了。
特 別 企 画 展 種 子 の 不 思 議 展	10月19日 ～12月24日	多様な種子の秘密を紹介する企画展を実施した。
秋 の 洋 ラ ン 展	10月26日 ～11月4日	カトレヤやパフィオペディルムなど洋ランの園芸品種と珍しい原種を展示了。
キ ク 展	10月26日 ～11月10日	日本と中国の交流の証である中国の菊花と日本の園芸菊などを展示了。
クリスマスを飾る フ ラ ワ 一 展	11月23日 ～12月25日	シクラメンやポインセチア、カラソコエなど、クリスマスでよく使われる植物や飾りを展示了。
冬 の 鉢 花 展	1月11日 ～2月9日	カラソコエを主体にシクラメンなどの冬の鉢花を展示し、品種や栽培方法などをパネルで解説した。
カカオとチョコの秘密展	2月1日 ～2月16日	チョコレートの歴史と作り方、カカオの秘密をパネルで紹介した。
春 の 特 別 ラ ン 展	2月22日 ～3月1日	洋ランを大温室を中心に展示し、花の魅力について紹介した。

#### (イ) 広報普及

名 称	時 期	内 容	件 数 等
マスコミによる広報	通 年	テレビ局、ラジオ局、新聞社、出版社などを通じて、植物の見頃の時期や催し物などについては毎月、珍しい植物の開花状況などについては随時、広報した。	テレビ 41 件 ラジオ 15 件 新聞 30 件 情報誌等 207 件 計 293 件
催し物案内ポスター・ P R 用チラシの配布	通 年	催し物案内ポスターやPR用チラシを作製し、公共施設などに配布した。	ポスター 627 か所 チラシ 1,995 か所

名 称	時 期	内 容	件 数 等
植物写真パネルなどの貸出し	通 年	植物や園内風景などを撮影した写真パネル・画像データを公共施設や事業所などに貸し出し、植物公園のPRを行った。	3か所 51点
ホームページによる広報	通 年	ホームページにより、施設の紹介、催し物、開花状況などの最新情報を提供した。	アクセス件数 128,300件
メールマガジンの配信	通 年	催し物、開花状況などを、登録した読者のパソコンや携帯電話に配信した。	登録件数 103件
有料の広告媒体による広報	通 年	西広島タイムスとCUEに広告を行い、植物公園のPRを行った。	2か所
マツダスタジアムにおけるPR活動	5月22日	マツダスタジアム内で開催された安佐動物公園のASA ZOO-ZOO広場において、食虫植物の解説などを行い、植物公園のPRを行った。	1回

(ク) 出版物の発行

名 称	内 容	発行部数
「紀 要」	各種の出版物を発行、配布して、国内外の植物園、	200部
「種 子 目 錄」	大学、各関係機関との交流を深め、植物公園事業の	18部
「年 報」	発展を図るとともに、植物に関する知識の普及及び	70部
「あ ら ま し」	植物公園事業の周知を図った。	250部

(ケ) 植物に関する相談

名 称	時 期	内 容	件 数
植物園芸相談	通 年	植物の栽培方法など植物に関する相談等を受けて助言、指導した。	1,195件

#### ④ 昆虫館の管理運営 [公2事業]

広島市から指定（期間：平成30年4月1日～令和4年3月31日）を受けた昆虫館における昆虫の飼育・展示、収集及び飼育管理、入館料の収受、施設の維持管理などを行い、入館者が施設を安全かつ快適に利用できるよう努めた。

平成30年の豪雨災害により令和元年5月10日まで臨時休館していたが、復旧が進み、5月11日から一部開館、8月1日から通常開館した。しかしながら、令和2年2月頃から国内で新型コロナウイルス感染症が流行し始め、感染拡大防止のため、2月29日から再度、臨時休館となった。休館中には、SNSやホームページ等により、昆虫及び館内施設に関する情報発信を積極的に行うなど、再開時における利用促進につながる活動に取り組んだ。

また、他団体との連携や調査・研究の成果を生かして、希少昆虫の生息域内外保全に積極的に取り組み、生物多様性の保全に貢献するとともに、社会教育、学校教育活動への協力、催し物の開催など各種事業を植物公園、安佐動物公園、こども文化科学館、公民館等と協働して実施し、昆虫に関する知識及び昆虫愛護思想の普及、かん養並びに昆虫愛好者の育成を図った。

#### ア 昆虫の飼育・展示など

##### (ア) 昆虫の飼育・展示

[展示場所] 主な展示昆虫	内 容
「パピヨンドーム」	チヨウ類 亜熱帯の花が咲き乱れるジャングルを再現した温室に、オオゴマダラ、リュウキュウアサギマダラ、ツマベニチョウ、クロテンシロチョウなど10種500頭以上の沖縄産チョウ類を放蝶し、吸蜜、飛翔、求愛、交尾、産卵などチョウの様々な行動を目撃することができる展示を行った。
	イトトンボ類 アオモンイトトンボ、ベニイトトンボなどのイトトンボ類を約100頭を放し、展示を行った。
	ホウジャク類 ホウジャク類のオオスカシバ約50頭、ハナアブ類のヒラタアブ約100頭を飼育展示した。

〔展示場所〕 主な展示昆虫		内 容
外 国 产 昆 虫		ヘラクレスオオカブトムシ、ハナカマキリ、ユウレイヒレアシナナフシ、オオコノハムシ、大型ゴキブリなど、子どもに人気のある外国産昆虫を展示了。
「昆虫ランド」	陸 生 昆 虫	オオクワガタ、カブトムシ、カマドウマ、タイワンクツワムシ、サツマゴキブリ、マイマイカブリなど夜に活動する昆虫を照明により昼夜を反転させて展示了。
	昼 行 性 昆 虫	ナナホシキンカメムシ、オオカマキリ、モリバッタなど昼に活動する昆虫を展示了。
	季 節 の 昆 虫	オオキンカメムシ、ツチイナゴなど広島県に分布し、季節の移り変わりを感じさせる昆虫を展示了。
	水 生 昆 虫	ゲンゴロウ、タガメ、ミズカマキリなどの水生昆虫をそれぞれの生息環境にすむその他の水生生物（オタマジャクシ、魚類、甲殻類）とともに展示了。ゲンゴロウ類については一日一回の餌やりショーも実施した。
	職員おすすめ！旬 の 昆 虫	アシナガバチなどテラリウムで展示することで、安全にじっくり観察できる昆虫をスポット的に展示了。
	昆 虫 以 外 の 陸 生 節 足 动 物	同じ節足動物に属し、昆虫と間違えやすいオオヤスデ、サソリ、タランチュラなど、昆虫以外の陸生節足動物を展示了。
	な つ か し い 身 近 な 生 活 物	40代以上の人人が子どものころ遊びのなかで出会っていたアメリカザリガニ、ダンゴムシ、ワラジムシなどの昆虫以外の小動物を展示了。
	廣 場 カ ジ	広島県のみに生息する絶滅危惧昆虫のヒョウモンモドキ約50頭を、発生時期である6月に展示了。

※臨時休館以降は、いつでも再開できるよう安定した累代飼育の維持に努めた。

#### 【昆虫等の飼育頭数】

(令和2年3月31日現在)

区 分	種 類	頭 数
チョウ類など(パピヨンドーム)	20種	780頭
外 国 产 昆 虫	70種	308頭
夜 行 性 昆 虫	14種	307頭
昼 行 性 昆 虫	29種	280頭 17群
水 生 昆 虫	14種	48頭
昆 虫 以 外 の 陸 生 節 足 动 物	11種	13頭
な つ か し い 身 近 な 生 活 物	4種	34頭
合 計	162種	1,770頭 17群

(イ) 昆虫の収集及び飼育管理

名 称	内 容
展示昆虫の維持及び種の保存	計画的な採集や交換などにより、累代飼育を適正に行い、展示昆虫を維持するとともに、保護が必要な昆虫を飼育し、種の保存に取り組んだ。
近交弱勢防止のための チョウその他の昆虫の採集	累代飼育の結果生じる近交弱勢を防止するため、年に数回、広島県や沖縄県などでチョウその他の昆虫を採集した。
昆 虫 の 交 換	近交弱勢などの防止及び展示種の充実のため、他の昆虫展示施設と昆虫を交換した。 譲受け：カバタテハなど5種 譲渡し：ハナカマキリなど10種
チ ョ ウ そ の 他 の 昆 虫 の 累 代 飼 育	他の動物に比べ比較的寿命の短い昆虫を周年展示するために、チョウ類約20種、その他の昆虫等約220種を累代飼育した。
新 し い 展 示 分 野 開 拓 の た め の 調 査	新しい展示分野を開拓するため、広島県内のほか、沖縄県などで、タテハモドキ、アオタテハモドキなどのチョウ類、タイワンタイコウチなどの水生昆虫、ヒメマルゴキブリ、チクシトゲアリなどを採集した。
外 国 产 昆 虫 の 導 入 と 飼 育	ドクロゴキブリなど外国産昆虫及び昆虫以外の節足動物類を導入し、累代飼育の確立に努めた。
「簡易繁殖場」における カブトムシの繁殖	昆虫好物樹木園等で3か所に設けている簡易繁殖場で、市民から譲り受けたカブトムシの幼虫約500頭を入れて繁殖飼育を行った。
昆 虫 の 飼 育 管 理	成育状態を良好に保つため、温度・湿度の管理のほか、チョウその他の昆虫の飼育及び展示に不可欠な蜜源植物及び食草を周年栽培・維持管理し、飼育環境の向上を図った。

(ウ) 入館料の収受 (利用料金制)

【入館状況】

区分				入館者数	使用料					
有料入館者	個人		大人	18歳以上65歳未満	510 円	11,136 人	5,679,360 円			
			65歳以上	170 円	1,178 人	200,260 円				
			小人	18歳未満 (小・中学生を除く)	170 円	89 人	15,130 円			
	年間パスポート	購入	大人	18歳以上 65歳未満	1,540 円 1,560 円	333 人 375 人	512,820 円 585,000 円			
			65歳以上		510 円	37 人	18,870 円			
		小人	18歳未満 (小・中学生を除く)	510 円	1 人		510 円			
		提示	大人	18歳以上65歳未満	—	3,687 人	— 円			
			65歳以上		—	163 人	— 円			
			小人	18歳未満 (小・中学生を除く)	—	0 人	— 円			
	団体		大人	18歳以上65歳未満	430 円	183 人	78,690 円			
			65歳以上		130 円	0 人	— 円			
			小人	18歳未満 (小・中学生を除く)	130 円	0 人	— 円			
	優待割引		大人	18歳以上65歳未満	430 円	3 人	1,290 円			
			65歳以上		130 円	0 人	0 円			
			小人	18歳未満 (小・中学生を除く)	130 円	0 人	0 円			
小計					17,185 人		7,091,930 円			
減免等入園者(小・中学生、社会福祉施設、その他)					27,573 人		0 円			
合計					44,758 人		7,091,930 円			

(イ) 利用促進

名 称	時 期	内 容	販売枚数等
年間パスポートの販売 (動物公園・植物公園・昆虫館共同事業)	5月11日 ~2月28日	より多くの方に昆虫館の魅力に触れる機会を提供するため、動物公園・植物公園と共に利用できる年間パスポートを販売し、利用者に対するサービスの向上及びリピーターの確保を図った。	746枚
休館日の開館	8月14日	お盆休み期間中を開館し、利用者に対するサービスの向上及び入館者の増加を図った。	入館者数 520人
外国人観光客誘致の促進	3月19日 ~3月31日	英文リーフレットを森林公園管理センターに設置し、外国人観光客の増加を図った。	発行部数 10,000部

(オ) 施設の維持管理・館内サービス

名 称	時 期	内 容
施設の維持管理	通 年	入館者に安全・快適な観覧環境を提供するため、館内の清掃・警備を行った。また、建物や機械・電気などの設備を良好な状態で使用できるよう維持管理や小規模修繕を行った。
利 用 案 内	開館日	入館者が快適に観覧できるよう、標識、リーフレット、館内放送などにより利用案内を行った。
緊急時などの対応	開館日	傷病者の救護、迷子の捜索・保護、拾得物・遺失物の管理などを行った。
展示解説の充実	通 年	昆虫の魅力や希少昆虫の現状を伝えるための展示解説板、写真、資料等を追加など、刷新した。また、パピヨンドームでは、植物の名前が分かるラベルの設置や、チョウの名前が調べられる観察ノートの設置を行った。
入館者への涼感サービスの提供	7~9月	夏期の暑さ対策として、昆虫館玄関前広場にミスト発生装置を設置した。

## イ 生物多様性の保全

### (ア) 他団体との連携

名 称	時 期	内 容	件 数
保護活動に関する情報交換	通 年	広島県生物多様性の保存希少生物分科会・ミヤジマトンボ保護管理連絡協議会、ヒヨウモンモドキ保全地域協議会へ参加し、環境省、広島県、三原市、廿日市市と連携してミヤジマトンボ、ヒヨウモンモドキの調査や生息地の環境保全活動を行った。	ミヤジマトンボ 5件 ヒヨウモンモドキ 5件

### (イ) 生息域内保全

名 称	時 期	内 容	件 数
生息地における絶滅危惧昆虫の保全	通 年	生息地域の住民との協働により、ギフチョウ、アカトンボ類、ゲンゴロウ、などの保全活動を行った。	安佐北区玖谷 1件 東広島市志和 1件 北広島町 1件

### (ウ) 生息域外保全

名 称	時 期	内 容	件 数
生息地以外における絶滅危惧昆虫の保全	4~11月	広島県のみに生息し、絶滅危惧Ⅰ種に指定されているヒヨウモンモドキの生息地の環境整備を行うとともに、館内で累代飼育し、幼虫を生息地に放虫するなど、保全に取り組んだ。また、6月には専用ケージで成虫の生体展示を行い、絶滅危惧昆虫の現状について情報発信を行った。	6件 《内訳》 調査 4・6月 環境整備 4・11月 生息域外展 6月 放虫 7月2日 (1,000個体)
	5~11月	広島県から委託を受け、「特定野生生物種ミヤジマトンボ」の採卵、孵化、人工飼育、放流を実施するなど、日本の絶滅危惧昆虫を保全に取り組んだ。	5件 《内訳》 調査 5月 採卵 7・8月 環境整備 9月 幼虫調査・放流 11月15日 (600個体)

(イ) 昆虫に関する調査・研究

名 称	時 期	内 容
昆虫に関する調査・研究	通 年	広島県、沖縄県などで、昆虫の種類や数の調査、採集を行い、ヒヨウモンモドキなどの希少昆虫や分布上貴重な昆虫の生息状況を記録した。また、採集した昆虫を飼育して累代飼育の確立のための研究を行うとともに、採集した昆虫の一部を標本資料として保管した。
各種資料の収集	通 年	昆虫に関する書籍・雑誌・資料を収集し、累代飼育などの調査・研究に役立てた。
研究活動発表会 (動物公園・植物公園・ 昆虫館共同事業)	2月10日	昆虫館の活動や研究成果等について市民を対象に発表した。今年度は、新規展示導入昆虫として、タテハモドキとアオタテハモドキの累代飼育確立への取り組みについて発表した。(参加者60人)

ウ 教育・普及

(ア) 社会教育への協力

名 称	時 期	内 容	件数等
講習会・観察会への 講 師 の 派 遣	通 年	公民館、図書館、その他の公共施設などが実施する昆虫及び自然環境に関する講習会・自然観察会に職員を講師として派遣した。	12件 21,222人
実習生の受入れ	8月30日 ~9月4日	大学生を受け入れ、博物館実習(学芸員実習)を行った。	1件 1人
大学との連携	1月27日	昆虫をテーマとした講師の派遣、情報交換などを行った。	1件 27人

(イ) 学校教育への協力

名 称	時 期	内 容	件数等
出張自然体験活動	通 年	命の大切さを伝えるため、保育園・幼稚園、小学校に職員を派遣し、昆虫とのふれあい体験を行った。	366件 9,572人
総合的な学習時間の支援	通 年	小・中学校に職員を派遣し、昆虫及び自然環境をテーマとした総合学習の指導を行った。	4件 250人
教材生物バザールへの参加	5月17日	県立教育センターの要請に基づいて職員を派遣し、教材として昆虫に関する試料を提供した。	90人

(ウ) 市民・団体との協働

名 称	時 期	内 容	参加者数等
昆虫館ボランティア	通 年	昆虫館ボランティアを育成して、館内でのイベントや自然観察会の補助、広島県内の希少昆虫の保護活動や調査等を行った。 (ボランティア総数 16人)	活動回数 5回 活動延べ人数 37人
秋の虫祭り「虫の運動会」 (森林公園・昆虫館 協 働 事 業 )	-	公園内でいろいろな木の実や落ち葉を拾い集め、材料にして貼り絵など簡単な工作を行った。	合計 1,429人
クリップバッタの ジャンプ競技	10月13日	プラスチッククリップを材料としてバッタを作り、それを的にめがけて跳ばすゲーム大会を実施し、的に当たった参加者には景品を進呈した。	469人
カブト・クワガタ相撲	10月13日	紙を材料としてカブト・クワガタのフィギュアを作り、戦わせる紙相撲大会を実施した。	320人
イモムシ競争	10月14日	チョウの幼虫が進むスピードを競うレースを実施した。参加者には筆等を使い、幼虫をくすぐることによってコントロールする方法を用いた。	50人
カブクワバトル	10月14日	さまざまなカブトムシやクワガタムシの戦う姿を観戦できるカブクワバトル大会を実施した。	550人
トビナナフシ 飛 距 離 選 手 権	10月14日	タイワントビナナフシを実際に飛ばして飛距離を競うレースを行った。	40人
ハロウイン蟲の館	10月26日 10月27日	ハロウインに合わせ、昆虫館及び昆虫館周辺を飾りつけて、おばけに扮した職員を配置して、おばけやしき+クイズラリーを実施した。	253人 514人 計 767人
木の実・落ち葉で遊ぼう (森林公園・昆虫館 協 働 事 業 )	11月17日 11月24日	公園内でいろいろな木の実や落ち葉を拾い集め、材料にして貼り絵など簡単な工作を行った。	100人 58人 計 158人
虫みくじ (森林公園・昆虫館 協 働 事 業 )	1月5日 1月11日 1月12日 1月13日	昆虫おもしろ話の解説が付く新年の運勢を占う「虫みくじ」を行った。	185人 135人 145人 265人 計 730人
森の七福神めぐり (森林公園・昆虫館 協 働 事 業 )	1月11日 1月12日 1月13日	公園と館内を巡りながら七福神をさがすスタンプラリーを行った。	100人 104人 244人 計 448人
バレンタインイベント (森林公園・昆虫館 協 働 事 業 )	2月8日 2月9日 2月11日	パピヨンドームにオオゴマダラの集まるブーケを設置し、来館者がそれを持ち、グループごとに撮影した写真を進呈した。	106人 222人 410人 計 738人

(イ) 昆虫館友の会の活動

会員数（21組78人）

名 称	時 期	内 容	参加人数等
講 習 会	6月9日	カブトムシやクワガタムシの標本の作りかた教室を実施した。（場所 県緑化センター）	33人
	12月8日	昆虫飼育や食草栽培のお仕事体験を行った。（場所 飼育室、食草温室、圃場）	41人
	3月1日	カブトムシの次世代幼虫を昆虫館に返却することを目標として、幼虫と飼いかたシートを配布した。（場所 圃場）	27人
野 外 観 察 会	5月26日	初夏の昆虫の観察を行った。 (場所 県緑化センター)	38人
	7月7日	河川敷でバッタ類を中心に観察を行った。 (場所 安佐南区川内)	29人
	9月8日	秋の昆虫の観察を行った。 (場所 市民の里@安佐)	41人
	10月20日	さまざまなドングリの採集と観察を行った。 (場所 昆虫好物樹木園)	32人

(オ) 講演会その他催し物の開催

a 講演会

名 称	時 期	内 容	参加者数等
開園30周年記念講演会 「ミヤジマトンボ」	11月3日	ミヤジマトンボの生態、昆虫館の長年にわたる保全取組と成果、生息地の現状などについて、講演を行った。	34人

b コンクール

名 称	時 期	内 容	参加者数等
むしむし写真 コンテスト	(応募期間) 5月1日 ~10月31日 (優秀作品展) 1月9日 ~2月28日	昆虫を題材とした写真コンテストを実施し、優秀作品を表彰した。優秀作品展を開催したほか、3/1よりWeb上でも公開した。	応募数 136人 応募点数 505点 入賞数 32点

c 観察会

名 称	時 期	内 容	参加者数等
どんぐり探検隊	10月6日	昆虫館周辺で、ドングリのなる木やドングリに集まる昆虫の観察会を行った。	37人
あおぞら自然観察会 (動物園・植物園・昆虫館共同事業)	11月10日	自然に関する理解を深めるため、大久野島で動・植物や昆虫を観察した。	65人

d 昆虫教室その他催し物

名 称	時 期	内 容	参加者数等
虫 タ ッ チ !!	5月11日		37人
	5月19日		82人
	5月25日		64人
	6月1日		48人
	6月15日		32人
	6月22日		113人
	6月29日		53人
	7月6日		94人
	7月13日		84人
	7月20日		67人
	7月27日		84人
	9月7日		334人
	9月14日		356人
	9月21日	幼児や児童とその保護者を対象に、年齢に合わせていろいろな昆虫に触れ合える体験イベントを開催した。	190人
	9月28日		210人
	10月5日	11月4日には開園記念日特別版として、種類や個体数を増やして実施した。	362人
	10月12日		100人
	11月4日		680人
	11月9日		240人
	11月16日		260人
	12月7日		106人
	12月14日		80人
	12月21日		100人
	1月18日		289人
	1月25日		128人
	2月1日		220人
	2月15日		165人
	2月22日		84人
			計 4, 662人

名 称	時 期	内 容	参加者数等
虫博士になろう！	-	小学生からシニアまでを対象に昆虫に関する実験や観察を行うほか、希少昆虫の保護活動等について解説し、専門的な知識の向上を図った。	合計 268人
ミツバチのはなし	5月12日 5月19日 5月25日 5月26日	ミツバチの巣のテラリウム（生体展示）を観察しながらその生態について解説した。	12人 25人 20人 15人 計 72人
アリのはなし	5月12日 5月19日 5月25日 5月26日	アリの巣のテラリウム（生体展示）を観察しながらその生態について解説した。	15人 30人 20人 20人 計 85人
お家で鳴く虫	9月15日	身近に見られるコオロギやキリギリスなど秋の鳴く虫の生態と、コオロギ、キリギリスの飼い方について解説した。	12人
カマキリのはなし	10月19日	カマキリの生態や飼い方について解説した。カマキリとのふれあい体験を通して、体のつくりなどを観察した。	15人
水辺の生きもの	11月2日	トンボの池で採集をし、採集した生きものの観察と解説を行った。	20人
虫の冬越し ～カメムシ編	11月23日	カメムシの生態と冬越しの姿、防除法について解説した。カメムシとのふれあい体験を実施し、体のつくりなどを観察した。	30人
カブト・クワガタの標本づくり	12月15日	カブトムシやクワガタムシの標本づくり教室を実施した。	34人
こんちゅう館で遊ぼう day	-	一部開館期間中に様々な催し物を実施し、入館者の増加を図った。	合計 943人
むしむしおりがみ教室	5月19日 6月30日 7月28日	昆虫を題材にしたおりがみ工作教室を実施した。	182人 30人 123人 計 335人
むしむしぬりえ	5月26日 6月16日 7月14日 7月15日	昆虫館内に展示してある虫の名前をつなげてしりとりを完成させるゲームを実施した。参加者には景品を進呈した。	65人 25人 102人 140人 計 332人
むしむしクイズラリー	6月2日	館内を巡りながら昆虫の生態を学べるクイズラリーを実施した。参加者には景品を進呈した。	30人
むしむし缶バッジ作り	6月23日	昆虫のイラストにぬり絵をしてオリジナルの缶バッジを作るイベントを実施した。	76人
こんちゅう館宝探し	7月7日	「7つのキラキラ虫をさがせ」と題し、楽しみながら昆虫に対する理解を深めてもらう宝さがしを実施した。参加者には景品を進呈した。	170人

名 称	時 期	内 容	参加者数等
夏休み子ども昆虫相談	7~8月	夏休みの自由研究の疑問点など、昆虫に関する相談を受けて助言、指導した。	10人
むしむしサマースクール	8月17日 8月24日 9月21日 9月28日	小学生を対象に、昆虫の飼育など昆虫館の仕事を体験できるサマースクールを実施した。	5人 3人 6人 4人 計 18人
昆虫館お仕事体験 (寄附者対象)	10月22日	昆虫への理解を深めるため、餌やり、放蝶など昆虫の飼育について指導した。	4人
森 の 音 楽 会	11月2日	サックス四重奏団を招き、秋に関係する曲を演奏する音楽会を開催した。	40人
カブトムシクラブ	12月1日 3月7日	カブトムシの幼虫から成虫まで各段階の飼育方法について解説するとともに、幼虫の採集体験を行い、採集した幼虫を配布して、家庭で飼育してもらう講座を実施した。3月分については、新型コロナ感染拡大防止のため、幼虫と飼育の仕方の資料の配布を屋外で行った。飼育に関する質問は、電話、Eメール等で随時受け付けた。	7組17人 9組24人 計 16組41人
【癒しの空間づくり】 X'mas 虫カフェ	12月22日	南国の気分を味わいながらチョウや熱帯植物をゆっくり観察できるよう、パピヨンドーム内に椅子やテーブルを設置し、ジュースやお菓子等を来館者に提供した。	36人
【癒しの空間づくり】 むし茶屋	1月4日 1月5日	南国の気分を味わいながらチョウや熱帯植物をゆっくり観察できるよう、パピヨンドーム内に縁台や床几を設置し、お茶・ジュースやお菓子等を来館者に提供した。	211人 243人 計 454人
ぱたぱたバタフライ	1月19日 1月26日 2月2日 2月16日 2月23日	紙とストロー、竹ひごを材料に、はばたくチョウのおもちゃを作る工作教室を行った。完成後は、パピヨンドームで動かして、生きたオオゴマダラなどのチョウ類を集める体験イベントを実施した。	69人 96人 70人 58人 87人 計 380人

(カ) 学校教育活動の受入れ

名 称	時 期	内 容	件数等
自然体験学習の受入れ	9月6日 ~12月9日	昆虫の観察やふれあい体験を目的として、幼稚園・保育園の幼児や小・中学校の児童・生徒を受け入れた。	32件 1,667人

(キ) 企画展その他展示会の開催

名 称	時 期	内 容
Oh ! マイホーム！ 巣をつくる昆虫たち	5月11日 ～6月2日	昆虫の営巣をテーマとし、様々な昆虫の巣作りの様子やその構造、役割について生体昆虫、巣の実物、標本を用いて紹介した。昆虫館が新たに考案した、ハチ類、アリ類、シロアリ類など社会性昆虫の巣の中を見ることのできる展示ケースを利用し、職員による解説・観察会も実施した。
むしむしおえかき展	5月11日 ～2月28日	保育園・幼稚園の園児が描いた虫の絵を展示した。
南の島のホタル	6月22日 ～7月7日	発光する沖縄産陸生ホタルの幼虫を暗くした会場で展示し、南の島の静かな夜の雰囲気を感じることができる癒しの空間を提供した。また、会期中に昆虫館職員が解説を行う観賞会も実施した。
世界のかぶト・クワガタ 2 0 1 9	8月1日 ～9月1日	世界の生きたカブトムシ・クワガタムシを展示するとともに、ふれあい体験や 記念撮影、カブト・クワガタバトルなどのイベントを実施した。
秋 の 鳴 く 虫	9月14日 ～9月29日	暗くした会場で、秋に出現するコオロギやキリギリスのなかま約20種を展示し、実際に鳴く姿を見聞きできる展示を開催した。
水 辺 の 昆 虫	10月12日 ～11月4日	「七つのオドロキ」と副題をつけ、タガメなど7種類の昆虫に大きくスポットを当て、こどもにもわかりやすく、生体展示とその解説をした。また、水辺環境にすむ生きものの現状と変化を絶滅危惧種の話題なども取り込んで詳しく解説した。
むしむし写真コンテスト 入 賞 作 品 展	1月9日 ～2月28日	写真コンテストの優秀作品展を開催した。また、3/1よりWeb上でも同優秀作品を公開した。
ブルブル G ランド	1月18日 ～2月28日	巨大なマダガスカルゴキブリ、テントウムシに見えるドミノローチなど、世界のゴキブリ約30種の生体を展示し、ゴキブリ類の地球上の生態的役割について紹介するとともに、土・日曜日、祝日にはふれあい体験「ごきタッチ！」えさやり体験「おやつタイム」を実施した。
ハ ー ト な 虫 「ラブ♡チューム」	2月8日 ～2月16日	バレンタインの時期に合わせて、背面に大きなハート模様のあるエサキモンキツノカムムシ等の生体及び写真を展示した。

(ク) 広報普及

名 称	時 期	内 容	件数等												
マスコミによる広報	通 年	テレビ局、ラジオ局、新聞社、出版社、市広報紙課などを通じて、昆虫館の展示や催し物などの広報を行った。	<table> <tr> <td>新 聞</td> <td>1 件</td> </tr> <tr> <td>テ レ ビ</td> <td>6 件</td> </tr> <tr> <td>ラ ジ オ</td> <td>3 件</td> </tr> <tr> <td>雑 誌</td> <td>1 件</td> </tr> <tr> <td>市 民 と 市 政</td> <td>6 件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>17 件</td> </tr> </table>	新 聞	1 件	テ レ ビ	6 件	ラ ジ オ	3 件	雑 誌	1 件	市 民 と 市 政	6 件	計	17 件
新 聞	1 件														
テ レ ビ	6 件														
ラ ジ オ	3 件														
雑 誌	1 件														
市 民 と 市 政	6 件														
計	17 件														

名 称	時 期	内 容	件数等
保育園、幼稚園、小学校 その他の教育施設への 学習利 用 の 促 進	通 年	保育園、幼稚園、小学校を訪問して、昆虫館で実施している社会教育活動を紹介した。	76件
ホームページによる広報	通 年	ホームページにより、施設の紹介、催し物、展示昆虫や季節の昆虫などの最新情報を探提供了。	アクセス数 70,387件
フェイスブックによる広報	通 年	フェイスブックにより、施設の紹介、催し物、展示昆虫や季節の昆虫などの情報を提供了。	更新回数 57件
ツイッターによる広報	通 年	ツイッターにより、催し物、展示昆虫や季節の昆虫などの情報を提供了。	更新回数 194件
オリジナルグッズの配布	通 年	各イベントに合わせ、昆虫シールや缶バッジなど昆虫館オリジナルグッズを配布し、昆虫館をPRした。	昆虫シール1,000枚 缶バッジ 520個
催し物案内ポスター・ P R 用チラシの配布	4~9月	催し物案内ポスターやPR用チラシを作製し、公共施設などに配布した。	チラシ(写真コンテスト) 200か所×1回 チラシ(新聞折込) 118,000軒×1回
マツダスタジアム における P R 活動	5月22日	マツダスタジアム内で開催された安佐動物公園のASA ZOO-ZOO広場において、昆虫ふれあい体験及びグッズの販売を行い、昆虫館のPRを行った。	1回
有料の広告媒体による広報	10月	森林公園と共同で、イベントチラシの新聞折込を行った。	1回

(ヶ) 出版物の配布

名 称	内 容	配布部数
「標本の作り方」 「飼ってみよう」	身近な昆虫の飼い方や標本の作り方を分かりやすく解説したリーフレットを配布し、昆虫に関する知識の普及や昆虫館事業の周知を図った。	300部 200部

(コ) 昆虫に関する相談

名 称	時 期	内 容	件数
昆 虫 相 談	通 年	昆虫の飼育方法や生態など昆虫に関する相談等を受けて助言、指導した。	395件

(2) 収益事業等

① 売店の運営など [収1事業]

ア 安佐動物公園等における売店の運営など

指定管理者として指定された次の施設の利用者の利便を図るため、売店、食堂などの経営を行った。

営業場所	内容
安佐動物公園	売店(2か所)における土産物などの販売 食堂(1か所)における飲食物の販売 喫茶(1か所)における飲食物の販売 自動販売機による清涼飲料水などの販売 ベビーカーの賃貸 コインロッカーの賃貸 電動スクーターの賃貸
植物公園	売店(1か所)における土産物などの販売 売店(1か所)における植物などの販売 食堂(1か所)における飲食物の販売 喫茶(1か所)における飲食物の販売 臨時売店(3か所)における植物などの販売 自動販売機による清涼飲料水などの販売 コインロッカーの賃貸 電動スクーターの賃貸 観光望遠鏡の賃貸
昆虫館	売店(1か所)における土産物などの販売 自動販売機による清涼飲料水などの販売 コインロッckerの賃貸
中央公園(ファミリープール)	食堂(1か所)における飲食物の販売 売店(1か所)における飲食物などの販売 自動販売機による清涼飲料水などの販売 浮輪の賃貸
中央公園(定期観光バス等駐車場) 大芝公園 交通ランド	自動販売機による清涼飲料水などの販売

イ 公益目的事業への繰入れ

緑のまちづくり事業、動物公園事業、植物公園事業、昆虫館事業等の推進を図るため、売店の運営等で得た収益を公益目的事業に繰り入れた。

② 公園及び公園施設の管理運営〔他1事業〕

広島市から指定（期間：平成30年4月1日～令和4年3月31日）を受けたファミリープールの入園料などの収受及び管理運営、中央公園の維持管理、交通ランド（大芝公園）のゴーカート使用料の収納事務及び維持管理並びに安佐動物公園、植物公園の駐車料の収受及び駐車場の管理運営を行い、入園者及び利用者が施設を安全かつ快適に利用できるよう努めた。

また、中央公園では、樹木及び被爆施設を活用して、樹木に関する知識の普及や平和について学ぶ機会を提供し、ファミリープールでは、幼児や児童、青少年の心身の健全な発達を図るため、水泳教室を開催した。

ア 中央公園（ファミリープールを含む）及び交通ランドの管理運営

(ア) 入園料などの収受及びゴーカート使用料の収納事務

a ファミリープール（利用料金制）

【入園状況】

区分				入園者数	使用料		
有料入園者	個人	大人	18歳以上65歳未満	780円	32,975人	25,720,500円	
		大人	65歳以上	340円	1,314人	446,760円	
		小人	小・中・高校生及び18歳未満	340円	35,660人	12,124,400円	
	団体	大人	18歳以上65歳未満	640円	31人	19,840円	
		大人	65歳以上	270円	0人	0円	
		小人	小・中・高校生及び18歳未満	270円	98人	26,460円	
小計				70,078人	38,337,960円		
減免等入園者（障害者、その他）				24,001人	0円		
合計				94,079人	38,337,960円		

【コインロッカー利用状況】

区分	利用回数	使用料
ロッカー利用（100円）	32,899回	3,289,900円

## b 交通ランド

### 【利用状況】

区分		利用台数	使用料
ゴーカート	個人	1人乗り(1台1回100円)	19,929台
		2人乗り(1台1回150円)	34,123台
	団体	1人乗り(1台1回80円)	121台
		2人乗り(1台1回120円)	198台
	減免利用者 (高齢者、その他)	1人乗り(—)	837台
		2人乗り(—)	7,082台
合 計		62,290台	7,144,790円

### (イ) 利用促進

名称	時期	内容	参加者数等
ファミリープール 前売券の発行	5月31日 ～6月28日	入園券に園内の売店・食堂で使える割引券をセットにした前売券を発行・販売し、新たな顧客の獲得に努めた。	販売枚数 2,921枚 利用枚数 2,007枚
ファミリープール ポイントカードの発行	7月1日 ～9月1日	所定の利用回数に達した場合、次回の入園料を免除するポイントカードを発行し、リピーターの確保を図った。	配布枚数 20,771枚 達成枚数 540枚
ファミリープール イベント開催	7月24日 7月31日 8月7日	ゲーム大会を開催し、利用者に対するサービスの向上を図った。	1日3回 9回
ファミリープール 休園日の開園	8月6日	開園期間中の休園日を開園し、利用者に対するサービスの向上及び入園者の増加を図った。	入園者数 688人
ファミリープール 開園期間の延長	9月1日	開園期間を1日間延長し、利用者に対するサービスの向上及び入園者の増加を図った。	入園者数 97人

(ウ) 施設の維持管理・園内サービス

名 称	時 期	内 容
施 設 の 維 持 管 理	通 年	利用者に安全・快適な利用環境を提供するため、園内の清掃・警備などを行った。また、プール管理棟などの建物、機械・電気などの設備やゴーカートを良好な状態で利用できるよう維持管理や小規模修繕を行った。
利 用 案 内	通 年	利用者が快適に施設を利用できるよう、標識、リーフレットや園内放送などにより利用案内を行った。
緊 急 時 な ど の 対 応	通 年	傷病者の救護、迷子の捜索・保護、拾得物・遺失物の管理などを行った。
ファミリープール 涼感サービスの提供	7月1日 ～9月1日	暑さ対策として、入園ゲート前と園内にミストファンを置き、入園者が涼しさを感じられるサービスを提供した。

イ 安佐動物公園及び植物公園の駐車場の管理運営

(ア) 駐車料の收受 (利用料金制)

a 安佐動物公園

【利用状況】

区 分		台 数	使 用 料
中・大型 自動車等	(4～9月：1,380円)	584 台	805,920 円
	(10～3月：1,400円)	599 台	838,600 円
普 通 自 動 車 等 ( 450円)		100,841 台	45,378,450 円
減 免 利 用		2,818 台	0 円
合 計		104,842 台	47,022,970 円

b 植物公園

【利用状況】

区 分		台 数	使 用 料
中・大型 自動車等	(4～9月：1,380円)	162 台	223,560 円
	(10～3月：1,400円)	90 台	126,000 円
普 通 自 動 車 ( 450円)		43,475 台	19,563,750 円
減 免 利 用		1,619 台	0 円
合 計		45,346 台	19,913,310 円

(イ) 施設の維持管理

名 称	時 期	内 容
施設の維持管理	通 年	利用者に安心・安全な利用環境を提供するため、駐車場内及び進入路における交通誘導や警備などを行った。また、立体駐車場などの建物や機械・電気などの設備を良好な状態で利用できるよう維持管理や小規模修繕を行った。

ウ 中央公園（ファミリープールを含む）における教育・普及

(ア) 水泳教室その他催し物の開催

名 称	時 期	内 容	参加者数等
中 央 公 園 樹名板づくり教室	5月12日	中央公園樹木の樹名板の作製や設置を行う子どもを募り、作業を通じて樹木について楽しく学ぶ場を提供した。また、この手作りの樹名板により公園利用者の関心を引き、樹木への理解や知識を深めた。	69人
ファミリープール 体験水泳教室	7月22日 7月29日 8月5日 8月19日 8月26日	親子を対象に、泳ぎ方を指導し、習得する場を提供した。また、救助する方法、救助される方法について実技を行った。	72組 158人

(イ) 広報普及

名 称	時 期	内 容	件 数 等
ホームページによる広報	通 年	ホームページにより、施設の紹介や催し物などの情報を提供した。	アクセス件数 160,858件
マスコミによる広報	通 年	テレビ局・新聞社・出版社などを通じて、催し物などの広報を行った。	テレビ 19件 新聞 0件 情報誌等 8件 計 27件
P R 用チラシの配布	5月23日 ~9月1日	小学校、公民館や公共施設などでファミリープールP R用チラシを配布し広報した。	チラシ 709か所

7 事業報告の附属明細書  
記載すべき事項はありません。

# 決 算 報 告 書

## 第2 決算報告書

令和元年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会決算報告書  
(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

## 1 貸借対照表

貸 借 対 照 表

令和2年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	271,480,174	275,418,362	△ 3,938,188
未収金	11,859,699	1,516,079	10,343,620
商品	7,878,308	7,980,903	△ 102,595
流動資産合計	291,218,181	284,915,344	6,302,837
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	112,000,000	112,000,000	0
基本財産合計	112,000,000	112,000,000	0
(2) 特定資産			
緑化基金積立資産	413,634,328	413,634,328	0
広島市みどり生きもの協会賞基金積立資産	3,000,000	3,000,000	0
退職給付引当資産	33,376,919	31,457,315	1,919,604
減価償却引当資産	24,281,871	25,563,455	△ 1,281,584
備品等購入資金積立資産	1,452,606	1,452,606	0
みどり生きものサポーター募金積立資産	1,681,142	1,401,119	280,023
特定資産合計	477,426,866	476,508,823	918,043
(3) その他固定資産			
建物	1,490,000	1,490,000	0
建物減価償却累計額	△ 1,489,998	△ 1,489,998	0
構築物	2,764,650	2,764,650	0
構築物減価償却累計額	△ 1,597,344	△ 1,413,035	△ 184,309
車両運搬具	4,283,207	6,683,207	△ 2,400,000
車両運搬具減価償却累計額	△ 4,283,202	△ 6,635,882	2,352,680
器具備品	25,049,693	24,543,756	505,937
器具備品減価償却累計額	△ 20,295,301	△ 19,318,863	△ 976,438
電話加入権	74,984	74,984	0
投資有価証券	192,940	166,498	26,442
その他固定資産合計	6,189,629	6,865,317	△ 675,688
固定資産合計	595,616,495	595,374,140	242,355
資産合計	886,834,676	880,289,484	6,545,192

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	74,229,603	75,553,660	△ 1,324,057
未払消費税等	20,964,700	14,726,600	6,238,100
未払法人税等	1,005,100	4,773,900	△ 3,768,800
前受金	14,000	229,000	△ 215,000
買掛金	3,526,678	5,241,823	△ 1,715,145
預り金	7,261,374	6,791,002	470,372
賞与引当金	33,523,111	33,242,034	281,077
流動負債合計	140,524,566	140,558,019	△ 33,453
2. 固定負債			
退職給付引当金	459,930,043	456,912,421	3,017,622
長期預り金	1,689,460	1,661,560	27,900
固定負債合計	461,619,503	458,573,981	3,045,522
負債合計	602,144,069	599,132,000	3,012,069
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
広島市出資金	503,600,000	503,600,000	0
寄付金	1,681,142	1,401,119	280,023
指定正味財産合計	505,281,142	505,001,119	280,023
(うち基本財産への充当額)	(100,000,000)	(100,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(405,281,142)	(405,001,119)	280,023
2. 一般正味財産	△ 220,590,535	△ 223,843,635	3,253,100
(うち基本財産への充当額)	(12,000,000)	(12,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(38,768,805)	(40,050,389)	(△ 1,281,584)
正味財産合計	284,690,607	281,157,484	3,533,123
負債及び正味財産合計	886,834,676	880,289,484	6,545,192

貸 借 対 照 表 内 訳 表

令 和 2 年 3 月 3 1 日 現 在

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引等消去	合 計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金	122,749,346	115,361,779	33,369,049		271,480,174
未収金	11,170,473	689,226			11,859,699
未収消費税等	613,965	124,217	1,245,014	△ 1,983,196	0
商品		7,878,308			7,878,308
他会計短期貸付金		32,886,000		△ 32,886,000	0
流動資産合計	134,533,784	156,939,530	34,614,063	△ 34,869,196	291,218,181
2. 固定資産					
(1) 基本財産					
投資有価証券	112,000,000				112,000,000
基本財産合計	112,000,000				112,000,000
(2) 特定資産					
緑化基金積立資産	413,634,328				413,634,328
広島市みどり生きもの協会賞基金積立資産	3,000,000				3,000,000
退職給付引当資産		33,376,919			33,376,919
減価償却引当資産	1,703,309	22,578,562			24,281,871
備品等購入資金積立資産		1,452,606			1,452,606
みどり生きものサポーター募金積立資産	1,681,142				1,681,142
特定資産合計	420,018,779	57,408,087			477,426,866
(3) その他固定資産					
建物		1,490,000			1,490,000
建物減価償却累計額		△ 1,489,998			△ 1,489,998
構築物		2,764,650			2,764,650
構築物減価償却累計額		△ 1,597,344			△ 1,597,344
車両運搬具	1,703,310	2,579,897			4,283,207
車両運搬具減価償却累計額	△ 1,703,309	△ 2,579,893			△ 4,283,202
器具備品	4,456,120	20,593,573			25,049,693
器具備品減価償却累計額	△ 3,383,974	△ 16,911,327			△ 20,295,301
電話加入権		74,984			74,984
投資有価証券	192,940				192,940
その他固定資産合計	1,265,087	4,924,542			6,189,629
固定資産合計	533,283,866	62,332,629			595,616,495
資産合計	667,817,650	219,272,159	34,614,063	△ 34,869,196	886,834,676
II 負債の部					
1. 流動負債					
未払金	35,964,810	11,890,731	26,374,062		74,229,603
未払消費税等	19,221,974	3,725,922		△ 1,983,196	20,964,700
未払法人税等		1,005,100			1,005,100
前受金	14,000				14,000
買掛金		3,526,678			3,526,678
預り金	937,966	192,345	6,131,063		7,261,374
他会計短期借入金	32,886,000			△ 32,886,000	0
貰与引当金	27,828,209	3,274,303	2,420,599		33,523,111
流動負債合計	116,852,959	23,615,079	34,925,724	△ 34,869,196	140,524,566
2. 固定負債					
退職給付引当金	378,084,485	33,376,919	48,468,639		459,930,043
長期預り金	557,900	1,131,560			1,689,460
固定負債合計	378,642,385	34,508,479	48,468,639		461,619,503
負債合計	495,495,344	58,123,558	83,394,363	△ 34,869,196	602,144,069
III 正味財産の部					
1. 指定正味財産					
広島市出資金	503,600,000				503,600,000
寄付金	1,681,142				1,681,142
指定正味財産合計	505,281,142				505,281,142
(うち基本財産への充当額)	(100,000,000)				(100,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(405,281,142)				(405,281,142)
2. 一般正味財産	△ 332,958,836	161,148,601	△ 48,780,300		△ 220,590,535
(うち基本財産への充当額)	(12,000,000)				(12,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(14,737,637)	(24,031,168)			(38,768,805)
正味財産合計	172,322,306	161,148,601	△ 48,780,300		284,690,607
負債及び正味財産合計	667,817,650	219,272,159	34,614,063	△ 34,869,196	886,834,676

## 3 正味財産増減計算書

**正味財産増減計算書**  
平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	100,250	100,250	0
基本財産受取利息振替額	835,418	835,418	0
特定資産運用益			
緑化基金受取利息	91,916	91,916	0
緑化基金受取利息振替額	3,363,392	3,363,392	0
協会賞基金受取利息	16,708	16,708	0
協会賞基金受取利息振替額	8,354	8,354	0
引当資産等受取利息	40,789	40,700	89
受取会費			
会員受取会費	769,000	816,000	△ 47,000
事業収益			
利用料金収益	246,288,940	265,527,420	△ 19,238,480
指定管理料収益	1,097,101,281	1,049,691,000	47,410,281
維持補修業務等受託収益	890,673	811,458	79,215
保護増殖業務受託収益	326,640	326,640	0
売店等売上収益	157,092,893	157,683,843	△ 590,950
売店等事業収益	23,089,164	29,402,832	△ 6,313,668
実費徴収金収益	2,266,090	2,260,041	6,049
手数料収益	52,479	77,755	△ 25,276
使用料収益	3,045,905	3,356,305	△ 310,400
受取補助金等			
受取協会運営等補助金	115,756,163	115,087,039	669,124
受取都市緑化フェア支援金	100,000	0	100,000
受取動物管理助成金	467,561	478,371	△ 10,810
受取動物保護活動等助成金	272,000	330,000	△ 58,000
受取負担金			
受取負担金	1,110,950	1,441,740	△ 330,790
受取寄付金			
受取寄付金	424,353	323,295	101,058
受取寄付金振替額	0	809,460	△ 809,460
受取協賛金			
受取協賛金	1,000,000	1,000,000	0
雑収益			
受取利息	51,919	51,804	115
雑収益	1,901,228	1,440,221	461,007
固定負債取崩益			
退職給付引当金取崩益	7,759,094	14,197,268	△ 6,438,174
経常収益計	1,664,223,160	1,649,569,230	14,653,930

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
(2) 経常費用			
事業費			
給料	218,087,419	218,488,805	△ 401,386
諸手当	167,962,469	179,417,878	△ 11,455,409
報酬	123,645,589	121,254,337	2,391,252
賞与引当金繰入	31,102,512	30,610,135	492,377
災害補償費	179,447	47,577	131,870
賃金	96,750,283	85,548,227	11,202,056
退職給付費用	7,416,042	9,648,330	△ 2,232,288
福利厚生費	107,756,390	106,933,197	823,193
退職共済掛金	204,000	204,000	0
仕入費	71,598,070	71,419,251	178,819
食糧費	79,025	118,926	△ 39,901
諸謝金	3,803,814	3,361,563	442,251
諸会費	1,095,927	809,720	286,207
報償費	627,198	736,276	△ 109,078
旅費	2,630,395	2,614,274	16,121
通信運搬費	3,231,843	3,694,807	△ 462,964
減価償却費	1,526,100	1,577,289	△ 51,189
消耗什器備品費	241,550	256,197	△ 14,647
消耗品費	94,404,738	99,868,662	△ 5,463,924
器具備品購入費	1,185,120	549,546	635,574
原材料費	721,105	1,338,478	△ 617,373
委託料	259,343,978	265,999,117	△ 6,655,139
修繕費	42,212,953	42,589,090	△ 376,137
工事請負費	0	809,460	△ 809,460
燃料費	27,237,001	29,191,805	△ 1,954,804
光熱水費	190,898,254	161,135,058	29,763,196
手数料	1,325,247	1,430,419	△ 105,172
使用料及び賃借料	13,666,403	12,399,994	1,266,409
保険料	2,616,639	2,259,082	357,557
租税公課費	64,434,783	58,055,154	6,379,629
負担金	1,211,049	1,562,484	△ 351,435
補助金	629,700	497,900	131,800
協賛金	0	50,000	△ 50,000
広報費	2,157,655	3,196,898	△ 1,039,243
雑費	476,040	217,818	258,222
固定資産除却損	2	0	2
棚卸減耗損	116,077	122,171	△ 6,094
棚卸資産廃棄損	108,192	0	108,192

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
管理費			
給料	18,494,700	20,642,400	△ 2,147,700
諸手当	11,957,082	17,866,690	△ 5,909,608
報酬	14,683,682	14,856,018	△ 172,336
賞与引当金繰入	2,420,599	2,631,899	△ 211,300
賃金	6,692,622	7,824,050	△ 1,131,428
退職給付費用	39,920,722	25,734,215	14,186,507
福利厚生費	9,230,526	10,469,948	△ 1,239,422
退職共済掛金	264,000	264,000	0
会議費	27,090	48,900	△ 21,810
交際費	15,000	10,000	5,000
諸謝金	198,000	418,000	△ 220,000
諸会費	247,960	252,960	△ 5,000
報償費	4,048	4,536	△ 488
旅費	103,680	121,420	△ 17,740
通信運搬費	884,338	868,384	15,954
消耗品費	959,946	1,021,538	△ 61,592
委託料	669,055	2,175,001	△ 1,505,946
手数料	102,628	103,771	△ 1,143
使用料及び賃借料	11,637,041	11,268,139	368,902
負担金	693,124	686,209	6,915
協賛金	40,000	50,000	△ 10,000
経常費用計	1,659,928,852	1,635,332,003	24,596,849
評価損益等調整前当期経常増減額	4,294,308	14,237,227	△ 9,942,919
当期経常増減額	4,294,308	14,237,227	△ 9,942,919
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
雑収益			
雑収益	0	776,976	△ 776,976
経常外収益計	0	776,976	△ 776,976
(2) 経常外費用			
事業費			
過年度災害補償費	0	271,642	△ 271,642
固定資産除却損	36,108	0	36,108
経常外費用計	36,108	271,642	△ 235,534
当期経常外増減額	△ 36,108	505,334	△ 541,442
税引前当期一般正味財産増減額	4,258,200	14,742,561	△ 10,484,361
法人税、住民税及び事業税	1,005,100	4,773,900	△ 3,768,800
当期一般正味財産増減額	3,253,100	9,968,661	△ 6,715,561
一般正味財産期首残高	△ 223,843,635	△ 233,812,296	9,968,661
一般正味財産期末残高	△ 220,590,535	△ 223,843,635	3,253,100

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	835,418	835,418	0
特定資産運用益			
緑化基金受取利息	3,363,392	3,363,392	0
協会賞基金受取利息	8,354	8,354	0
受取寄付金			
受取寄付金	280,023	346,934	△ 66,911
一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	△ 4,207,164	△ 5,016,624	809,460
当期指定正味財産増減額	280,023	△ 462,526	742,549
指定正味財産期首残高	505,001,119	505,463,645	△ 462,526
指定正味財産期末残高	505,281,142	505,001,119	280,023
III 正味財産期末残高	284,690,607	281,157,484	3,533,123

正味財産増減計算書内訳表  
平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計			法人会計	内部取引等消去	合 計
	公1 (緑のまちづくり)	公2 (動物・植物・昆虫)	共通 (事業運営)	公益計	収1 (売店の運営など)	他1 (公園・公園施設)	収益等計			
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
基本財産運用益										
基本財産受取利息		100,250		100,250						100,250
基本財産受取利息振替額	83,542	751,876		835,418						835,418
特定資産運用益										
緑化基金受取利息	91,916			91,916						91,916
緑化基金受取利息振替額	3,363,392			3,363,392						3,363,392
協会賞基金受取利息	16,708			16,708						16,708
協会賞基金受取利息振替額	8,354			8,354						8,354
引当資産等受取利息										40,789
受取会費										
会員受取会費		769,000		769,000						769,000
事業収益										
利用料金収益		137,724,800		137,724,800						246,288,940
指定管理料収益		917,748,281		917,748,281						1,097,101,281
維持補修業務等受託収益		890,673		890,673						890,673
保護増殖業務受託収益		326,640		326,640						326,640
売店等売上収益										157,092,893
売店等事業収益										22,488,000
実費徴収金収益										2,266,090
手数料収益										52,479
使用料収益										3,045,905
受取補助金等										
受取協会運営等補助金										115,756,163
受取都市緑化フェア支援金	100,000			100,000						100,000
受取動物管理助成金		467,561		467,561						467,561
受取動物保護活動等助成金		272,000		272,000						272,000
受取負担金										
受取負担金	264,500	846,450		1,110,950						1,110,950
受取寄付金										
受取寄付金		424,353		424,353						424,353
受取協賛金										
受取協賛金		1,000,000		1,000,000						1,000,000
雑収益										
受取利息	27,817			27,817						51,919
雑収益	137,796	738,129	48,445	924,370	342,720	508,320	851,040	2,109,014	△ 1,983,196	1,901,228
固定負債取崩益										
退職給付引当金取崩益		7,759,094		7,759,094						7,759,094
経常収益計	4,094,025	1,069,819,107	48,445	1,073,961,577	185,352,978	289,026,624	474,379,602	117,865,177	△ 1,983,196	1,664,223,160

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計			法人会計	内部取引等消去	合計
	公1 (緑のまちづくり)	公2 (動物・植物・昆虫)	共通 (事業運営)	公益計	収1 (売店の運営など)	他1 (公園・公園施設)	収益等計			
(2) 経常費用										
事業費										
給料		203,393,419		203,393,419	14,694,000		14,694,000			218,087,419
諸手当		153,854,715	3,176,434	157,031,149	10,061,283	870,037	10,931,320			167,962,469
報酬	1,366,200	86,868,667		88,234,867	14,212,115	21,198,607	35,410,722			123,645,589
賞与引当金繰入		27,185,703	642,506	27,828,209	2,173,999	1,100,304	3,274,303			31,102,512
災害補償費		179,447		179,447						179,447
賃金		67,044,720		67,044,720	24,003,494	5,702,069	29,705,563			96,750,283
退職給付費用		5,496,438		5,496,438	1,919,604		1,919,604			7,416,042
福利厚生費	201,105	92,274,037	2,714,312	95,189,454	7,452,326	5,114,610	12,566,936			107,756,390
退職共済掛金					204,000		204,000			204,000
仕入費					71,598,070		71,598,070			71,598,070
食糧費		75,137		75,137	3,888		3,888			79,025
諸謝金	602,100	3,165,714		3,767,814		36,000	36,000			3,803,814
諸会費		1,039,727		1,039,727	56,200		56,200			1,095,927
報償費	50,000	577,198		627,198						627,198
旅費		2,559,095		2,559,095	71,300		71,300			2,630,395
通信運搬費	53,657	2,974,522		3,028,179	83,859	119,805	203,664			3,231,843
減価償却費		89,651	47,319	136,970	1,389,130		1,389,130			1,526,100
消耗什器備品費		163,208		163,208	78,342		78,342			241,550
消耗品費	1,119,683	89,033,357	384,220	90,537,260	1,755,016	2,112,462	3,867,478			94,404,738
器具備品購入費		1,185,120		1,185,120						1,185,120
原材料費		721,105		721,105						721,105
委託料		109,147,305		109,147,305	1,733,980	148,462,693	150,196,673			259,343,978
修繕費		25,920,419		25,920,419	691,852	15,600,682	16,292,534			42,212,953
燃料費		26,852,688	6,390	26,859,078	43,517	334,406	377,923			27,237,001
光熱水費		135,140,189		135,140,189	7,112,826	48,645,239	55,758,065			190,898,254
手数料	23,575	975,178		998,753	269,014	57,480	326,494			1,325,247
使用料及び賃借料		8,367,659	3,340	8,370,999	4,265,300	1,030,104	5,295,404			13,666,403
保険料		1,050,541	13,980	1,064,521	322,638	1,229,480	1,552,118			2,616,639
租税公課費		52,886,062	39,500	52,925,562	7,463,060	6,029,357	13,492,417		△ 1,983,196	64,434,783
負担金	1,100,000	73,273		1,173,273	37,776		37,776			1,211,049
補助金	629,700			629,700						629,700
広報費		1,675,547		1,675,547	482,108		482,108			2,157,655
雑費		8,668		8,668	467,372		467,372			476,040
固定資産除却損					2		2			2
棚卸減耗損					116,077		116,077			116,077
棚卸資産廃棄損					108,192		108,192			108,192

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計			法人会計	内部取引等消去	合 計
	公1 (緑のまちづくり)	公2 (動物・植物・昆虫)	共通 (事業運営)	公益計	収1 (売店の運営など)	他1 (公園・公園施設)	収益等計			
管理費								18,494,700		18,494,700
給料								11,957,082		11,957,082
諸手当								14,683,682		14,683,682
報酬								2,420,599		2,420,599
賞与引当金繰入								6,692,622		6,692,622
賃金								39,920,722		39,920,722
退職給付費用								9,230,526		9,230,526
福利厚生費								264,000		264,000
退職共済掛金								27,090		27,090
会議費								15,000		15,000
交際費								198,000		198,000
諸謝金								247,960		247,960
諸会費								4,048		4,048
報償費								103,680		103,680
旅費								884,338		884,338
通信運搬費								959,946		959,946
消耗品費								669,055		669,055
委託料								102,628		102,628
手数料								11,637,041		11,637,041
使用料及び賃借料								693,124		693,124
負担金								40,000		40,000
協賛金										
経常費用計	5,146,020	1,099,978,509	7,028,001	1,112,152,530	172,870,340	257,643,335	430,513,675	119,245,843	△ 1,983,196	1,659,928,852
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,051,995	△ 30,159,402	△ 6,979,556	△ 38,190,953	12,482,638	31,383,289	43,865,927	△ 1,380,666		4,294,308
当期経常増減額	△ 1,051,995	△ 30,159,402	△ 6,979,556	△ 38,190,953	12,482,638	31,383,289	43,865,927	△ 1,380,666		4,294,308
2. 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
経常外収益計										
(2) 経常外費用										
事業費										
固定資産除却損					36,108		36,108			36,108
経常外費用計					36,108		36,108			36,108
当期経常外増減額					△ 36,108		△ 36,108			△ 36,108
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 1,051,995	△ 30,159,402	△ 6,979,556	△ 38,190,953	12,446,530	31,383,289	43,829,819	△ 1,380,666		4,258,200
他会計振替額	1,183,133	28,954,257	6,959,365	37,096,755	△ 10,893,693	△ 26,203,062	△ 37,096,755			0
税引前当期一般正味財産増減額	131,138	△ 1,205,145	△ 20,191	△ 1,094,198	1,552,837	5,180,227	6,733,064	△ 1,380,666		4,258,200
法人税、住民税及び事業税					1,005,100		1,005,100			1,005,100
当期一般正味財産増減額	131,138	△ 1,205,145	△ 20,191	△ 1,094,198	547,737	5,180,227	5,727,964	△ 1,380,666		3,253,100
一般正味財産期首残高	64,920,077	△ 397,783,661	998,946	△ 331,864,638	145,547,639	9,872,998	155,420,637	△ 47,399,634		△ 223,843,635
一般正味財産期末残高	65,051,215	△ 398,988,806	978,755	△ 332,958,836	146,095,376	15,053,225	161,148,601	△ 48,780,300		△ 220,590,535

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計			法人会計	内部取引等消去	合計
	公1 (緑のまちづくり)	公2 (動物・植物・昆虫)	共通 (事業運営)	公益計	収1 (売店の運営など)	他1 (公園・公園施設)	収益等計			
II 指定正味財産増減の部										
基本財産運用益										
基本財産受取利息	83,542	751,876		835,418						835,418
特定資産運用益										
緑化基金受取利息	3,363,392			3,363,392						3,363,392
協会賞基金受取利息		8,354		8,354						8,354
受取寄付金										
受取寄付金			280,023	280,023						280,023
一般正味財産への振替額										
一般正味財産への振替額	△ 3,455,288	△ 751,876		△ 4,207,164						△ 4,207,164
当期指定正味財産増減額	0	280,023		280,023						280,023
指定正味財産期首残高	413,600,000	91,401,119		505,001,119						505,001,119
指定正味財産期末残高	413,600,000	91,681,142		505,281,142						505,281,142
III 正味財産期末残高	478,651,215	△ 307,307,664	978,755	172,322,306	146,095,376	15,053,225	161,148,601	△ 48,780,300		284,690,607

財務諸表に対する注記

## 1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法  
満期保有目的の債券・・・償却原価法（定額法）によっている。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
商品・・・・・・・・先入先出法による原価法によっている。（時価が取得価額よりも下落した場合には、時価をもって貸借対照表価額とする。）
- (3) 固定資産の減価償却の方法  
定額法によっている。
- (4) 引当金の計上基準  
貸倒引当金・・・・・・・債権については回収可能性に問題がないため、貸倒引当金は計上していない。  
賞与引当金・・・・・・・職員の賞与の支払いに備えて、賞与支給見込額の当事業年度負担額を計上している。  
退職給付引当金・・・・・・・職員の退職給付に備えるため、期末退職給付の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。
- (5) 消費税等の会計処理  
税込方式によっている。

## 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	112,000,000	—	—	112,000,000
小　　計	112,000,000	—	—	112,000,000
特定資産				
緑化基金積立資産	413,634,328	—	—	413,634,328
広島市みどり生きもの協会賞基金積立資産	3,000,000	—	—	3,000,000
退職給付引当資産	31,457,315	1,919,604	—	33,376,919
減価償却引当資産	25,563,455	699,666	1,981,250	24,281,871
備品等購入資金積立資産	1,452,606	—	—	1,452,606
みどり生きもののサポートー募金積立資産	1,401,119	280,023	—	1,681,142
小　　計	476,508,823	2,899,293	1,981,250	477,426,866
合　　計	588,508,823	2,899,293	1,981,250	589,426,866

## 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	112,000,000	( 100,000,000)	( 12,000,000)	( —)
小　　計	112,000,000	( 100,000,000)	( 12,000,000)	( —)
特定資産				
緑化基金積立資産	413,634,328	( 402,600,000)	( 11,034,328)	( —)
広島市みどり生きもの協会賞基金積立資産	3,000,000	( 1,000,000)	( 2,000,000)	( —)
退職給付引当資産	33,376,919	( —)	( —)	( 33,376,919)
減価償却引当資産	24,281,871	( 0 )	( 24,281,871)	( —)
備品等購入資金積立資産	1,452,606	( 0 )	( 1,452,606)	( —)
みどり生きもののサポートー募金積立資産	1,681,142	( 1,681,142)	( 0 )	( —)
小　　計	477,426,866	( 405,281,142)	( 38,768,805)	( 33,376,919)
合　　計	589,426,866	( 505,281,142)	( 50,768,805)	( 33,376,919)

4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
第368回大阪府公募公債	527,927,391	540,038,400	12,111,009
第327回利付国債	899,877	923,040	23,163
合 計	528,827,268	540,961,440	12,134,172

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等 の名称	交付者	前期末 残高	当期 増加額	当期 減少額	当期末 残高	貸借対照表上 の記載区分
補助金 受取協会運営等補助金 (広島市補助金)	広島市	0	115,756,163	115,756,163	0	一
助成金 受取都市緑化フェア支援金 <small>第37回全国都市緑化ひろしまフェア実行委員会</small>		0	100,000	100,000	0	一
受取動物管理助成金 (公社)日本動物園水族館協会		0	467,561	467,561	0	二
受取動物保護活動等助成金 (公社)日本動物園水族館協会		0	272,000	272,000	0	二
合 計		0	116,595,724	116,595,724	0	

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息の振替額	835,418
特定資産受取利息の振替額	3,371,746
合 計	4,207,164

7. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引内容は、次のとおりである。

(単位：円)

属 法 人 等 の 名 称	住 所	資 産 總 額	事 業 の 内 容 又 は 職 業	議 決 權 の 所 有 割 合	関 係 内 容		取引の内容	取引金額	科目	期末 残高
					役員の兼務等	事業上の関係				
当 法 人 を 支 配 す る 法 人 市	广 岛 市 中 区	-	理事15名中 市職員3名 元市職員3名		市公共事業の受託	広島市の公園及び公園施設の指定管理	1,097,101,281	—	0	
						広島市の公園及び公園施設の維持補修等	890,673	—	0	
						協会事業に対する補助	115,756,163	—	0	

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

剩余金が生じた場合において、指定管理については毎年度又は指定管理期間満了時に精算を行い返還することとし、受託及び補助については毎年度精算を行い返還することとしている。

## 6 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記の「2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」において記載しているため省略する。

### 2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	33,242,034	33,523,111	33,242,034	-	33,523,111
退職給付引当金	456,912,421	39,577,670	36,560,048	-	459,930,043

## 財産目録

令和2年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金預金	手元保管 普通預金 広島銀行本店営業部 広島銀行安支店 広島銀行五日市八幡支店 広島銀行福田支店 大和ネクスト銀行エビス支店 定期預金 吳信用金庫広島支店 朝銀西信用組合広島支店 大和ネクスト銀行 広島市信用組合安支店 信用組合広島商銀本店営業部 広島県信用漁業協同組合連合会本店 振替口座 ゆうちょ銀行日浦郵便局 ゆうちょ銀行広島城山郵便局 ゆうちょ銀行広島馬木郵便局 売店業務等委託先業者ほか オリジナルグッズ他	運転資金として 運転資金として  運転資金として  運転資金として  運転資金として  運転資金として  運転資金として  運転資金として  販売手数料等 来園者等への販売用	11,236,414 61,908,752 61,449,246 68,500,140 11,348,459 2 6,000,000 10,000,000 10,000,000 10,000,000 10,000,000 10,000,000 55,177 834,917 147,067 11,859,699 7,878,308
未収金商品			
流動資産合計			291,218,181
(固定資産)			
基本財産	投資有価証券	第368回大阪府公募公債	112,000,000
特定資産	緑化基金積立資産	投資有価証券 第368回大阪府公募公債  第327回利付国債 投資有価証券 第368回大阪府公募公債	412,736,000
	広島市みどり生きもの協会賞基金積立資産	普通預金 広島銀行本店営業部  広島銀行安支店 定期預金 広島県信用組合安古市支店 広島市農業協同組合あさひが丘支店 普通預金 広島銀行本店営業部 広島銀行五日市八幡支店 定期預金 吳信用金庫広島支店	898,328
	退職給付引当資産	同上  同上  同上 定期預金 広島県信用組合安古市支店 広島市農業協同組合あさひが丘支店 普通預金 広島銀行本店営業部 広島銀行五日市八幡支店 定期預金 吳信用金庫広島支店	3,000,000
	減価償却引当資産	同上  同上  同上 定期預金 広島銀行本店営業部 広島銀行五日市八幡支店 定期預金 吳信用金庫広島支店	11,457,315
	備品等購入資金積立資産	同上  同上  同上 定期預金 広島銀行本店営業部 普通預金 広島銀行本店営業部 普通預金 広島銀行安支店 定期預金 広島銀行五日市八幡支店 定期預金 吳信用金庫広島支店	1,919,604
	みどり生きものサポーター募金積立資産	同上  同上  同上 定期預金 広島銀行安支店 定期預金 広島銀行五日市八幡支店 定期預金 広島銀行福田支店	10,000,000
その他固定資産	建物 構築物 車両運搬具	植物公園 温室及び倉庫 6.2. 3 m <sup>2</sup> 安佐動物公園 仮設売店 9.7 m <sup>2</sup> 普通乗用車1台 小型貨物等2台、スクーター2台	10,000,000
	器具備品	デジタルカメラ等23点 冷蔵庫等79点 安佐動物公園 管理事務所	4,000,000
	電話加入権 投資有価証券	第368回大阪府公募公債  第327回利付国債	1,452,606
固定資産合計			595,616,495
資産合計			886,834,676

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動負債)	未払金	維持管理業務等委託先業者ほか 広島東税務署	委託料等の未払額 令和元年度消費税及び地方消費税の未払額	74,229,603 20,964,700
	未払消費税等	広島東税務署	令和元年度法人税等の未払額	1,005,100
	未払法人税等	広島動物愛好会等会員	令和2年度分前受会費	14,000
	前受金	商品仕入先業者	売店等における商品仕入れの買掛額	3,526,678
	買掛金	広島東税務署、厚生労働省年金局、 広島市等	源泉所得税、健康保険料及び厚生年金保険 料、住民税等	7,261,374
	預り金	職員に対するもの	職員118名に対する賞与の支払いに備えたもの	33,523,111
	賞与引当金			
流動負債合計				140,524,566
(固定負債)	退職給付引当金	職員に対するもの	職員63名に対する退職金の支払いに備えたもの	459,930,043
	長期預り金	維持管理業務等委託先業者	契約保証金	1,689,460
固定負債合計				461,619,503
負債合計				602,144,069
正味財産				284,690,607